

郡山市ふれあい科学館年報

— 令和元年度版 —



夏休みドーム映像番組
「オーシャン ～青い海の仲間たち～」
入場者10,000人記念セレモニー



スペースパーク企画展
「恐怖の謎に迫る -THE ホラーハウス-」



プラネタリウム ウィンターコンサート
「CHRISTMAS NIGHT ～マリンバが語る星物語～」



スペースパーク企画展
「昭和レトロ回展 -親子であそぼう!昭和ワールド」



スペースパーク企画展
「フォトラボ -映える写真でいいね-」



「台風19号で被災した市内3つの小学校を
サポートしよう」事業 赤木小学校

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

目 次

はじめに	(2) 天文学術会議調査……………	60
Ⅰ 施設のあらまし	(3) 展先協議会等調査……………	60
1 設置目的……………	(4) 展示最新情報調査……………	60
2 運営方針……………	10 その他	
3 施設概要……………	(1) 運営協力……………	61
4 組織概要……………	(2) ボランティア活動の推進 ……	62
5 歴代館長……………	Ⅲ 令和元年度広報・営業活動	
6 沿革……………	1 広報PR活動	
Ⅱ 令和元年度事業活動実績	(1) 広報戦略活動……………	68
1 宇宙劇場運営	(2) 広報紙の配布 ……	69
(1) プラネタリウム番組投映 ……	2 営業活動……………	69
(2) 音楽コンサート……………	Ⅳ 令和2年度事業活動計画	
2 展示ゾーン運営	1 宇宙劇場運営……………	71
(1) 体験型展示物の運転……………	2 展示ゾーン運営 ……	75
(2) 常設展示物の活用 ……	3 展望ロビー利活用事業 ……	77
(3) 科学普及事業……………	4 展示ゾーン利活用事業 ……	78
3 展望ロビー利活用事業	5 教育普及活動……………	82
(1) パブリックビューイング ……	6 宇宙や科学に関する情報発信事業 …	85
(2) 展望ロビーパネル展 ……	7 作品募集 ……	86
(3) Nゲージ鉄道ジオラマショー …	8 出版……………	86
(4) 展望ロビーイルミネーション…………	9 調査・研究 ……	87
4 展示ゾーン利活用事業	10 その他……………	87
(1) 企画展……………	Ⅴ 令和2年度広報・営業活動	
(2) パソコン工房の活用 ……	1 広報PR活動 ……	89
(3) 学校長期休業期間の特別事業 …	2 営業活動……………	90
(4) 団体利用向け科学教室……………	Ⅵ 予算・決算	
(5) 科学技術へのいざない ……	1 令和元年度決算……………	91
5 教育普及活動	2 令和2年度予算 ……	92
(1) 学校向け巡回展……………	Ⅶ 施設利用状況	
(2) 講師派遣……………	1 月別入館者数……………	93
(3) 職場体験としての機会提供 ……	2 施設別入館者数……………	94
(4) クラブ活動 ……	3 宇宙劇場区分別入館者数……………	98
(5) 講座・講演会 ……	4 展示ゾーン区分別入館者数 ……	99
(6) 観望会……………	5 平成26年度から平成30年度までの入館者数の変遷	101
(7) 学習支援……………	6 令和元年度施設利用状況の結果分析	104
6 宇宙や科学に関する情報発信事業	Ⅷ その他	
(1) 企画パネル展 ……	1 条例・規則 ……	107
(2) 学術発表……………	2 利用案内……………	116
7 作品募集……………	3 スペースパークボランティアの会会則	117
8 出版		
(1) 年報の発行……………		
(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行…		
9 調査・研究		
(1) 天文関連協議会調査……………		60

はじめに

今年度は、5月1日から元号が令和となり、新しい時代の幕開けとなりました。「公益財団法人郡山文化・学び振興公社」が郡山市より新たに指定管理を受け、郡山市ふれあい科学館の管理運営を行う初年度でもあり、新たな決意のもと職員一丸となってさらなる事業の充実を図り、進化・発展し続ける「グローイングミュージアム」を目指しスタートを切った年でもありました。これまで通り、当館の設置目的である「理科離れ、科学技術離れへの対応」「市民の生涯学習意欲への対応」そして「都市部の回遊性と集客」実現のため、各関係機関との連携などにより、事業の一層の充実に努めてまいりました。また、今年度はSDGs「持続可能な開発目標」の4「質の高い教育をみんなに」を焦点化し、「子どもから大人まで学び、楽しめる宇宙・科学をテーマにした施設」として郡山の文化の発展に寄与し、「質の高い教育をみんなに」の目標達成のために、利用者に応じた内容のプログラムの提供を図ってまいりました。

令和元年度の主な事業としましては、これまで経験のない10連休となったGW期間中に、企画展「フォトラボ - 映える写真でいいね -」やプラネタリウム特別番組「星になったチロ」を放映しました。夏には、スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る - THE ホラーハウス -」を開催し、家族連れを中心に中・高校生などの若い年代層の関心も集め20,000人を超えるお客様に入場していただきました。また、ドーム映像番組では「オーシャン ～青い海の仲間たち～」を放映し、10,000人を超えるお客様にご来場いただきました。冬には、スペースパーク企画展「昭和レトロ展 - 親子であそぼう!昭和ワールド -」を開催し、昭和の懐かしい商店街や縁日を10,000人を超えるお客様に楽しんでいただきました。また、ドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」を放映し、約5,000人のお客様にムーミンの世界を楽しんでいただきました。関係機関との連携による科学ゼミナールにおいても、日本大学工学部や福島大学、一般社団法人電池工業会、曾田香料株式会社などの大学や企業等との連携により、多くの皆様方に科学のおもしろさを体験していただきました。国立天文台との連携事業においても、縣 秀彦氏と当館職員によるワークショップ「望遠鏡を作って観よう」を実施しました。プラネタリウムウィンターコンサートでは、マリンバ奏者 SHINSKE 氏による「CHRISTMAS NIGHT - マリンバが語る星物語 -」を開催しました。利用者に応じた番組放映では、高齢者向けの「いきいきプラネタリウム」や乳幼児と一緒に楽しんでいただける「ベビープラネタリウム」を年3回実施し、特に「ベビープラネタリウム」は毎回満席に近い来場者となり好評を得ました。

また、11月に東京都北区で開催された零士ワールドサミットに参加し、名誉館長松本零士先生の「銀河鉄道999」の当館ラッピングカーを出品展示し好評を得るとともに、全国の関連施設との交流を図ることができました。

今年度は、台風19号による市内水害被害のため営業時間の短縮や年度末に感染が拡大した新型コロナウイルスの感染予防のため宇宙劇場の1か月にわたる放映中止など、当館の事業運営にも大きな影響を及ぼし、お客様にも多大なご迷惑をおかけしました。そのような中、10月の水害で大きな被害を受けた市内3つの小学校へのサポート事業として、職員が学校を訪問し、先生方とともに児童に科学や天文のおもしろさを伝えることができたことは、当館にとっても大きな意義あるものとなりました。今後とも、「質の高い教育をみんなに」の視点にたち、子どもから大人まで学び、楽しめるグローイングミュージアムを目指し、鋭意努力してまいります。より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館
館長 岡崎 強

I 施設のあらまし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

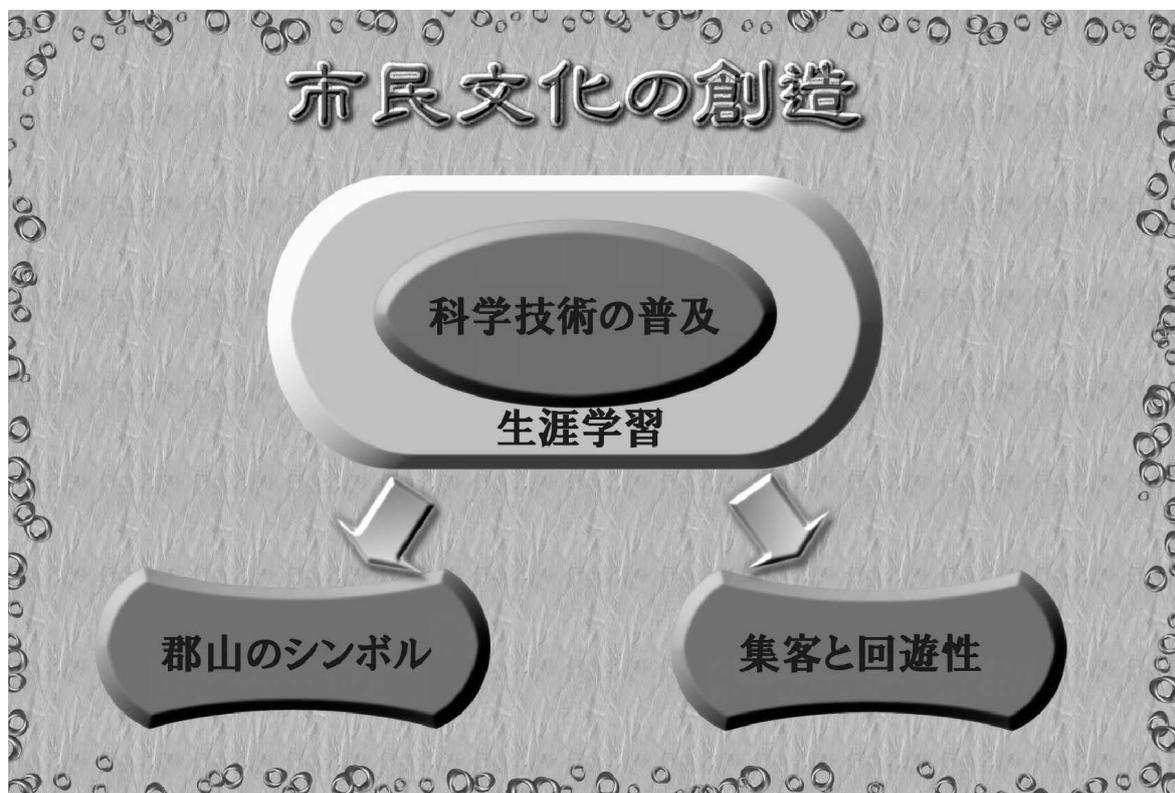
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローイング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号
 (ビッグアイ 20～24 階)
 構造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造
 ※ビル全体の構造 (地上高 133 m)
 面積：4,337.37㎡ (内専用部分 3,459㎡)

郡山市ふれあい科学館
 フロア案内

宇宙劇場 - 23・24F -

劇場、ホワイエ

- 規模
直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席
- 機器
スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか
- 展示品
アースタッチング

展望ロビー - 22F -

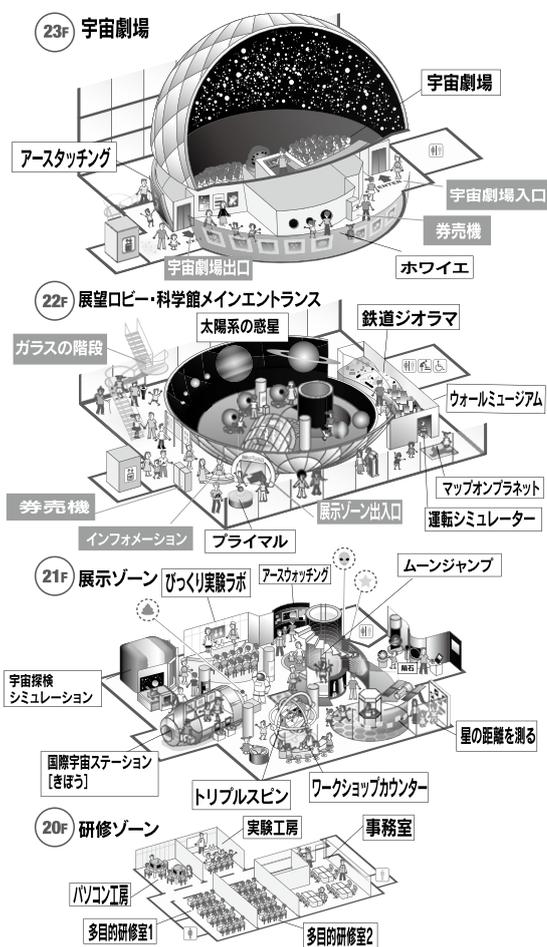
メインエントランス、カフェ・ショップほか

- 展示品
Nゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

展示ゾーン - 21F -

- 展示品
- プロローグ -
プロローグ「惑星」、コペルニクスのお考え

スペースパークフロアマップ



- た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか
- －スペースフロンティア－
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか
- －クエスト・オブ・ザ・ユニバース－
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- －アースウォッチング－
- アースウォッチングほか

研修ゾーン － 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

総事業費

4,331,480,716 円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

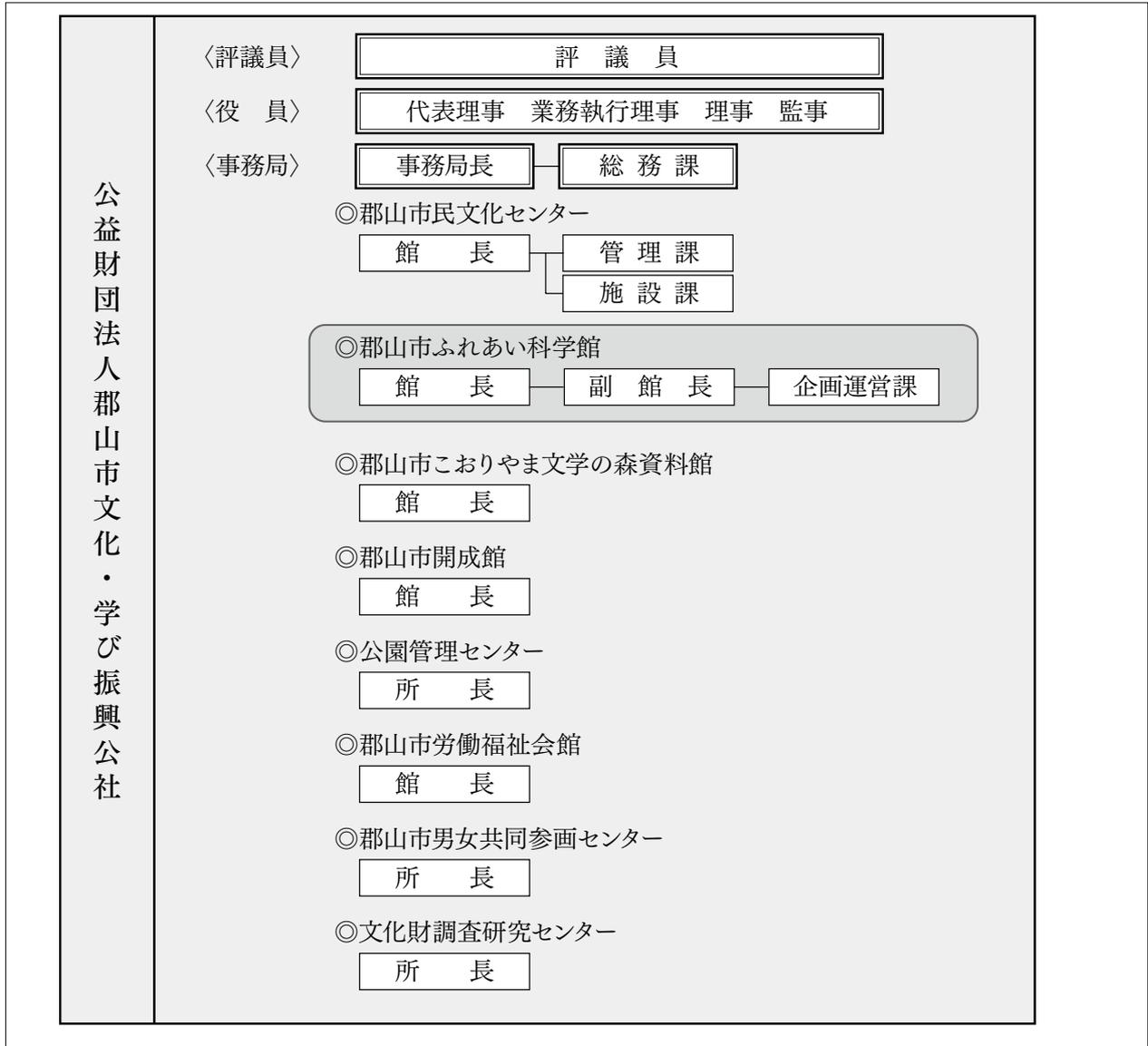
* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図<令和元年度>



(2) 職員配置〈令和2年3月31日現在〉

館長（嘱）（1）

参事兼副館長（1）

－企画運営課（30）－

課長（兼）、主任主査（1）、主任（4）、主査（1）、主事（3）、常勤嘱託職員（2）、
非常勤嘱託職員（1）

臨時職員（18）

合計 32人

5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市川正道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間政彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日
第9代館長	岡崎強	平成30年4月1日～

6 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

<平成12年3月>

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

▶平成12年度

<平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年9月>

○科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

<平成12年12月>

○科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

<平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年7月>

○シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成 13 年 8 月>

- 22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第 1 回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

- ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

- 有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

- 展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

- ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

- 開館 1 周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

- 常陸宮両殿下御視察

- 開館 1 周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

- 開館 1 周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

- 展示ゾーン新展示物設置

H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

<平成 15 年 4 月>

- 特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

<平成 15 年 6 月>

- 宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

<平成 15 年 7 月>

- “松本零士のスペースアニメ展”開催
- “松本零士のふれあいトーク”開催
- スペースパークボランティア活動開始

<平成 16 年 2 月>

- スペースパークボランティアの会設立

<平成 16 年 3 月>

- 展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

<平成 16 年 5 月>

- リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

<平成 16 年 6 月>

- 有料ゾーン入館者が50万人突破

<平成 16 年 9 月>

- 高円宮妃殿下御視察

<平成 16 年 10 月>

- “郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念 小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

<平成 16 年 11 月>

- 展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）
- 天文教育普及研究会・東北支部会開催

<平成 17 年 2 月>

- 県内 5 館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）
- 郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

<平成 17 年 9 月>

- アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

<平成 18 年 3 月>

- 展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン
- オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成 18 年度

<平成 18 年 9 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催
(9・10月)

<平成 18 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催
- 国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成 18 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成 19 年 3 月>

- “ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成 19 年度

<平成 19 年 7 月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成 19 年 10 月>

- 「第 5 回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

<平成 19 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催
- 展望ロビー入館者が200万人突破

<平成 20 年 1 月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成 20 年度

<平成 20 年 6 月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」”開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成 20 年 7 月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成 20 年 12 月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成 21 年度

<平成 21 年 4 月>

○世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成 21 年 7 月>

○“夏休み特別番組「3 Dワンダフルプラネット」”放映開始

○“世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

<平成 21 年 11 月>

○“全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

<平成 21 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催

○“冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”放映開始

○“世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

▶平成 22 年度

<平成 22 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始

<平成 22 年 11 月>

○“全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

<平成 22 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始

<平成 23 年 3 月>

○「東日本大震災」により3月11日より休館

▶平成 23 年度

<平成 23 年 4 月>

○「東日本大震災」により4月28日まで休館、4月29日より開館

○“スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成 23 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”放映開始

○“はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

<平成 23 年 8 月>

○“「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成 23 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成 23 年 12 月>

○“郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”放映開始

<平成 24 年 1 月>

○「宇宙劇場の改修」により 1 月 10 日より休館

<平成 24 年 2 月>

○展望ロビー入館者が 300 万人突破

▶平成 24 年度

<平成 24 年 4 月>

○“宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催

<平成 24 年 5 月>

○郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

<平成 24 年 6 月>

○郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成 24 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を 7 月 14 日から 16 日、7 月 21 日から 8 月 26 日まで放映

<平成 24 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を 12 月 1 日から 1 月 14 日まで開催

○“冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を 12 月 1 日から 2 月 24 日までロングラン放映

<平成 25 年 1 月>

○全国のプラネタリウム 22 施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて 55 人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

<平成 25 年 2 月>

○“イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」”を夜間放映

○独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成 25 年度

<平成 25 年 5 月>

○“パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

<平成 25 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」”を 7 月 20 日から 8 月 25 日まで放映

<平成 25 年 11 月>

○“全館企画「アイソンスペシャル！」”を 11 月 9 日から 12 月 8 日まで開催

○“アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成 25 年 12 月>

○“冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで投映

○“スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

<平成 26 年 1 月>

○“天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

<平成 26 年 3 月>

○“スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

▶平成 26 年度

<平成 26 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」”を7月19日から8月24日まで投映

<平成 26 年 9 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展”を9月2日から10月31日まで開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会”を9月27日・28日に開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会”を開催

<平成 26 年 10 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」”を10月4日から26日まで投映

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 26 年 11 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」”を開催

○JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成 26 年 12 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成 27 年度

<平成 27 年 4 月>

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○有料ゾーン入館者が200万人突破

<平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

<平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタアフターイベント」を開催

<平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

<平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

<平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

▶平成 28 年度

<平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス -氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！」”を4月1日から5日まで投映

<平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで投映

<平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

<平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催
 - ・開館15周年記念式典
 - ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
 - ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
 - ・ハイスクール科学祭
 - ・トリックアート展
- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」を開催

<平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

<平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、
「Planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

▶平成 29 年度

<平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」
「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで投映

<平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで投映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

<平成 29 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催
- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7日から9日までアンコール投映

<平成 29 年 11 月>

- “春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

<平成 29 年 12 月>

- スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」を12月2日から1月8日まで放映

<平成 30 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで放映

▶平成 30 年度

<平成 30 年 4 月>

- 第9代館長 岡崎強就任
- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を4月1日から5日まで放映

<平成 30 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」”を7月14日から8月26日まで放映
- スペースパーク企画展「犯人はだれだ！ 科学捜査にチャレンジ」を7月14日から8月26日まで開催

<平成 30 年 8 月>

- 有料ゾーン入館者が250万人突破

<平成 30 年 9 月>

- 3D天文シミュレーション「Mitaka 3D」導入
- 科学館専用車に松本零士名誉館長原作の「銀河鉄道999」をデザインしたラッピングカー導入

<平成 30 年 10 月>

- “秋のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」”を10月6日から12月2日まで放映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月6日から8日まで開催
- 「2018全国少年少女発明クラブ創作展」が、10月13日・14日に「ビッグパレットふくしま」を会場に開催され、運営協力している郡山市少年発明クラブからも5作品を出展した。13日には当クラブの活動の様子を公益財団法人発明協会の野間口会長以下役員の方々が視察した。

<平成 30 年 12 月>

- スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」を12月8日から1月7日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」”を12月8日から1月7日まで放映

<平成 31 年 3 月>

○春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を3月1日から31日までアンコール
投映

▶平成31年度・令和元年度

<平成31年4月>

○春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を4月1日から7日までアンコール
投映

○スペースパーク企画展「フォトラボ ―映える写真はいいね―」を4月27日から
5月6日まで開催

<令和元年7月>

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」特別試写会”を開
催

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」”を7月13日から
8月25日まで投映

○スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る ―THE ホラーハウス―」を7月13日か
ら8月25日まで開催

<令和元年10月>

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日から14日まで開催

<令和元年12月>

○スペースパーク企画展「昭和レトロ展 ―親子であそぼう！昭和ワールド―」を
12月7日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を12月7日から1月7日まで投
映

<令和2年2月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため宇宙劇場が2月26日から休館

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展望ロビーが2月29日から休館

Ⅱ 令和元年度事業活動実績

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分間

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分	17時(※1)	19時(※2)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	
夏休み期間等(※3)	10時30分	11時40分	13時	14時20分	15時40分	17時

※1 12/10～25のみ投映

※2 金曜日のみ投映

※3 春休み期間(4/1～7)、ゴールデンウィーク期間(4/27～5/6)、夏休み期間、10月・12/1～1/7の土曜・日曜・祝日・冬休み期間

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第3・5回目、春休み期間・ゴールデンウィーク期間・10月の土曜・日曜・祝日・冬休み期間の第2・5回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
宇宙の体重のなぞ ～ダークマター・ミステリー～	平成31年4月1日(月)～4月30日(火)	54回	1,008人
地球外生命発見?! -第2の地球探し-	令和元年5月1日(水)～6月30日(日)	101回	2,580人
月面着陸 再び! -アポロ11号から50年-	令和元年7月2日(火)～8月31日(土)	106回	3,624人
衝突する銀河	令和元年9月1日(日)～10月31日(木)	89回	2,162人
はやぶさ2 いよいよ地球へ	令和元年11月1日(金)～12月30日(月)	97回	1,664人
国際宇宙ステーション	令和2年1月2日(木)～2月24日(月) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月26日(水)～29日(土)投映休止	91回	1,900人
光のカーテン -オーロラ紀行-	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月1日(日)～31日(火)投映休止	0回	0人

観覧者総数 12,938人



宇宙の体重のなぞ
～ダークマター・ミステリー～



地球外生命発見？！
～第2の地球探し～



月面着陸 再び！
～アポロ11号から50年～



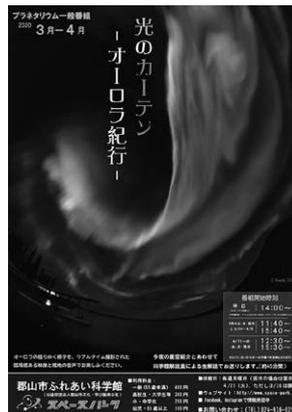
衝突する銀河



はやぶさ2 いよいよ地球へ！



国際宇宙ステーション



光のカーテン
～オーロラ紀行～

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えた家族向けのプラネタリウム番組を放映した。

放映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、
春休み期間・ゴールデンウィーク期間・10月の土曜・日曜・祝日・冬休み期間の第3回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ふゆのほしめぐり	平成31年4月1日(月)～7日(日)	7回	767人
ほしぞらのどうぶつたち	平成31年4月13日(土)～令和元年5月26日(日) ※4月27日(土)～5月6日(月)を除く	20回	449人
宇宙ミステリーツアー	平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月)	10回	858人
たなばたのほしとあまのがわ	令和元年6月1日(土)～8月7日(水)	45回	2,148人
宇宙だいぼうけん!	令和元年8月8日(木)～9月29日(日)	42回	2,408人
ながれぼしをみよう!	令和元年10月5日(土)～11月30日(土)	30回	878人

みなみのしまのほしぞら	令和元年12月1日(土)～ 令和2年1月26日(日)	32回	1,189人
ほしのこどもたち	令和2年2月1日(土)～24日(月) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月29日(土)～3月31日(火)投映休止	20回	721人

観覧者総数 9,418人



ふゆのほしめぐり



ほしぞらのどうぶつたち



宇宙ミステリーツアー



たなばたのほしとあまのがわ



宇宙だいぼうけん!



ながればしをみよう!



みなみのしまのほしぞら



ほしのこどもたち

学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座をみつけよう (小学校低学年以上)	通 年	12回	678人
日なたと日かげ (小学校中学年以上)		4回	230人
月と星の動き (小学校中学年以上)		42回	3,725人
月と太陽 (小学校高学年以上)		1回	122人
地球と宇宙 (中学生向け)		9回	648人
宇宙のお話 (中学生以上)		4回	369人

観覧者総数 5,772人

幼児番組 ※幼児週間に集中して放映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により放映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映した。

放映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ほしのせかいりょう	平成31年4月～令和元年5月	5回	282人
にほんのたなばたものがたり ～あめわかひこのおはなし～	令和元年6月～7月	17回	2,252人
つきのおはなし	令和元年8月～10月	9回	581人
うちゅうたんけんツアー	令和元年10月～12月	11回	630人
オーロラをみにいこう!	令和2年1月～2月	7回	403人

観覧者総数 4,148人

ドーム映像番組

全天周映像（ドーム映像）に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を学校長期休業期間中に放映した。特に夏休みの放映にあたっては先行試写会など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、モルティ事業部と連携し商業施設での展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬期間にも全天周映像に星空紹介を加えたドーム映像番組の上映及びモルティ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

<春のドーム映像番組「星の旅 —世界編—」>

放映期間：平成31年4月1日～7日の第1・4回目

<夏休みドーム映像番組「オーシャン～青い海の仲間たち～」>

放映期間：夏休み期間（7月13日～8月25日）の第1・3・5回目

※7/16～19を除く。

<冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」>

放映期間：12月7日～令和2年1月7日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間（12月26日～令和2年1月7日）の第1・4回目、及び12月10日～25日の平日の第5回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
星の旅—世界編—	平成31年4月1日(日)～7日(日)	14回	410人

オーシャン ～青い海の仲間たち～	令和元年7月13日(土)～8月25日(日)	120回	10,577人
ムーミン谷のオーロラ	令和元年12月7日(土)～令和2年1月7日(火)	43回	4,680人



星の旅-世界編-



オーシャン
～青い海の仲間たち～



ムーミン谷のオーロラ

観覧者総数 15,667人

<夏休みドーム映像番組「オーシャン～青い海の仲間たち～」先行試写会>

夏休みドーム映像番組の先行試写会を行い、話題づくりと作品の見どころについて紹介した。

☆開催日時 令和元年7月7日(日) 11時30分～12時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者 205人

☆内 容 主催者あいさつ、作品の見どころ紹介、番組鑑賞、松本零士名誉館長ビデオメッセージ紹介



試写会の様子



スペースパーク紹介映像お披露目の様子

特別番組

さまざまな映像や星空紹介を加えた、話題性が高く娯楽性の高い家族向けの番組をゴールデンウィーク期間、秋の期間に放映した。

放映期間：4/27～5/6、10/5～10/27の土・日・祝日の第1・4回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
星になったチロ	平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月)	20回	1,193人
星空めぐりと『ウルトラマンゼロVR』	令和元年10月5日(土)～27日(日)	20回	834人



星になったチロ



星空めぐりと『ウルトラマンゼロVR』

観覧者総数 2,027人

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。(字幕作成協力：要約筆記こおりやま)

☆ 開催日時 令和元年10月27日(日) 14時20分～15時05分

☆ 内容 特別番組「星空めぐりと『ウルトラマンゼロVR』」

☆ 観覧者数 48人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月15日(日)放映休止

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する

番組タイトル	放映日時	観覧者数
ほしとおともだち	令和元年10月24日(木) 10時15分～10時50分	172人
ほしのクリスマスかい	令和元年12月24日(火) 10時15分～10時50分	241人
ふゆのほし	令和2年1月16日(木) 10時15分～10時50分	140人
おたんじょうびのせいざ	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月12日(木)放映休止	0人

観覧者総数 553人

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	放映日時	観覧者数
今夜の星空と南半球の星空	平成31年4月18日(木) 10時15分～11時	22人
今夜の星空と動く惑星たち	令和元年7月19日(金) 10時15分～11時	40人
今夜の星空と12000年後の星空	令和元年11月21日(木) 10時15分～11時	32人
今夜の星空と北極の星空	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月27日(木)放映休止	0人

観覧者総数 94人

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組放映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を放映した。

番組タイトル	放映日時	放映回数	観覧者数
古墳の宇宙	令和元年5月2日(木) 18時30分～19時30分	1回	51人
星空ライブ60～平成から令和へスペシャル～	令和元年5月4日(土) 18時30分～19時30分	1回	31人
七夕の星空	令和元年7月6日(土)・7日(日) 18時30分～19時30分	2回	122人
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム!～	令和元年8月1日(木)～3日(土) 18時30分～19時	3回	95人
クリスマスの星物語	令和元年12月24日(火)・25日(水) 18時30分～19時30分	2回	95人
星空ライブ60	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月21日(土)放映休止	0回	0人

観覧者総数 394人

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間：平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目(夏休み期間を除く。)
毎週金曜日の第6回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
星夜の花園 ～野口勝宏の花の世界～	平成31年4月1日(月) ～令和元年5月31日(金)	61回	1,014人
宙とロック3 ～洋楽ロック特集～	令和元年6月1日(土)～7月26日(金)	47回	754人
スターライトクラシック vol. 5 ～ショパンの調べ～	令和元年8月9日(金)～9月29日(日)	37回	727人
90年代ヒット曲特集 -Part. 2-	令和元年10月1日(火)～11月30日(土)	59回	777人
和楽器特集	令和元年12月1日(日) ～令和2年1月31日(金)	55回	938人
卒業ソング特集	令和2年2月1日(土)～24日(月) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月26日(水)～3月31日(火)放映休止	24回	347人

観覧者総数 4,557人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

<プラネタリウムウィンターコンサート「CHRISTMAS NIGHT ～マリンバが語る星物語～」>

☆開催日 令和元年12月21日(土)

☆開催時間 ①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演奏 SINSKEさん、広田圭美さん

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 412人(1回目225人、2回目187人)

※11月23日(土)から観覧券の前売販売を開始



ウィンターコンサートの様子

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30分ごとに10人程度

トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30分ごとに7人程度

宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）※土・日・祝日・学校長期休業期間中は
10時20分から17時40分まで20分ごとに整理券を配布

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 1回8人

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用品の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾ

ーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等で開催）

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
くるくる ISS	国際宇宙ステーションが描かれたペーパークラフトを製作した。
分光万華鏡	分光シートで作る七色の光が見える万華鏡を製作した。
クリスマスカード	期間限定のクリスマスカードを製作した。
絵合わせパズル	紙を折りたたんで4枚の絵をそろえるパズルを製作した。

資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

<天文関係の資料収集>

資料名	寄贈・借用元
鹿島 34m アンテナの鏡面パネル	国立研究開発法人情報通信研究機構（寄贈）

資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	国立天文台野辺山宇宙電波観測所（寄贈）

スペースフロンティア	宇宙服 (レプリカ)	
	宇宙服 (レプリカ)	
	さわれる宇宙服 (レプリカ)	所有：日本宇宙少年団 (借用)
	H-II A ロケット フェアリング	所有：JAXA (借用)
	H-II B ロケット (1/25 模型)	日本宇宙少年団 (借用)

展望ロビーにおいて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
スペースフロンティア	ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	日本宇宙少年団 (借用)

宇宙劇場において、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
ホワイエ	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和 45 年～昭和 55 年使用
	プラネタリウム投影機 M-2 型投影機 惑星棚	杉並区教育委員会 (寄贈)

(3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施した。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。(約 20 分間)

☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成31年4月 ・令和元年5月	ドレミの音で大実験	82 回	725 人	ドレミパイプを叩いて、音が鳴る仕組みについて解説し、ドレミパイプの長さを短くすると音が高くなるなどの実験を行った。
令和元年 6・7月	野菜を使って実験しよう!	96 回	1,149 人	浮く野菜と沈む野菜の違いを紹介した。また、野菜の酵素とオキシドールを反応させて酸素を作る実験などを行った。

令和元年 8・9月	宇宙空間ってどん なところ？	104回	1,168人	落下中は無重力になる性質を利用し、無重力の状態では泡やビー玉がどのように位置変化するかをカメラで追った。また、真空ポンプを使用し、真空時に起きる現象について紹介した。
令和元年 10・11月	空気ので大実験	79回	682人	空気には重さがあることを測定器で確かめた。また、大気圧を利用して、ポウリングの球を持ち上げる実験などを行った。
令和元年12月 ～令和2年2月	ピタッと磁石で大 実験	124回	1,283人	磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って鉄球を飛ばす実験などを行った。
令和2年 3月	プルプル科学	26回	97人	巨大化するスライムを作り、ゲルの特徴を説明した。力を加えたり振動を与えることで、性質が変わる物質を紹介した。
平成31年4月 ・令和元年5月 (ゴールデン ウィーク)	酸アルカリ大実験 ～色水で遊ぼう!～	10回	191人	ムラサキイモの粉末を使用して、家庭にある身近なものが酸性なのかアルカリ性なのかを調べたり、塩酸にマグネシウムリボンを入れ水素を発生させるなどの実験を行った。
令和元年 7・8月 (夏休み)	燃える科学	39回	779人	物が燃えるには三つの要素が必要なことを紹介した。また、燃える物によって独自の色を放つ炎色反応の実験などを行った。

参加者数 6,074人



野菜を使って実験しよう!の様子



宇宙空間ってどんなところ?の様子



空気ので大実験の様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

- ☆開催時間 ① 11時30分～、② 14時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成31年 4月	まさつの科学	48回	392人	素材や重さによって、摩擦がどのように変化するかの実験や、人類がこれまでにやってきた摩擦の影響を小さくする工夫の実験などを行った。また、摩擦を利用して、キャラクターが上ってくる工作を行った。
令和元年 5・6月	地球は生きている 岩石のひみつ	106回	1,153人	地球上で見られる火成岩、堆積岩、変成岩といった岩石を種類ごとに観察して比較した。また、鉱物が持つ不思議な性質を実験で確認した。さらに、岩塩の劈開という性質を利用したアクセサリー作りを行った。
令和元年 7・8月	小さな世界をの ぞいてみよう	113回	1,892人	ミジンコなどの微生物を観察した。また、砂糖と塩など、見た目が似ているものを顕微鏡観察で比べて、どちらがどちらかを当てる実験を行った。さらに、ビー玉を使った工作を行った。
令和元年 9・10月	おふろで科学実 験?	104回	959人	お風呂に関する不思議や、お風呂にあるものを使った実験をテーマに、せっけんを使って白い紙にお絵かきをしたり、シャンプーや洗顔料などの性質を調べ、その役割を知る実験を行った。家で使える入浴剤も工作した。
令和元年 11・12月	ゆれのひみつ 大 地がふるる	104回	691人	地震をテーマに、地震波が伝わる仕組みを実験した。また、揺れの影響で起こる液状化現象の実験も行った。そして、建物の高さ揺れとの関係がわかる工作を行った。
令和2年 1・2月	バチツときたぜ静 電気!	96回	793人	この季節の空気の乾燥を利用して、静電気を使った実験を行った。静電気を引き合う性質、退け合う性質を実験したほか、静電気でも回転するモーターの実験も行った。また、静電気を利用した釣りゲームの工作を行った。
令和2年 3月	空気の実験	52回	147人	飛行機がどうして空を飛べるのかをサブテーマとして、空気の流れのふしぎを探りながら、最後には陸上ヨットを使って、揚力の実験を行った。またリング飛行機を工作した。

参加者数 6,027人



まさつの科学の様子



地球は生きている 岩石のひみつの様子



おふろで科学実験?の様子

3D 天文シミュレーション

展示ゾーンへの入館者を対象に、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を開催した。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

参加者数 2,372人



3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星探査機打ち上げ時に JAXA が配信を行う映像をリアルタイムで公開予定だったが、今年度は、開館時間中の打ち上げは行われなかった。

(2) 展望ロビーパネル展

パネル展「いのちってなに？」

私たちの体が何でできているか、そして分かったことをどのように生活の中で役立っているのかをパネルで解説した。

☆開催日時 令和2年2月1日(土)～24日(月・祝)



パネル展の様子

(3) Nゲージ鉄道ジオラマショー

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～、②15時～(約20分間)

☆見学者数 1,856人



鉄道ジオラマショーの様子

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時(ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時

☆料金 200円(約5分間)

☆運転者数 2,263 人

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置した。

ハロウィン

☆開催日時 令和元年 9 月 27 日(金)～ 10 月 31 日(木) 日没～ 20 時



ハロウィンイルミネーションの様子

クリスマス

☆開催日時 令和元年 11 月 15 日(金)～ 12 月 25 日(水) 日没～ 20 時



クリスマスイルミネーションの様子

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

スペースパーク企画展「フォトラボ -映える写真でいいね-」

「あなたが来てはじめて作品が完成する」をテーマに、トリックをつかった不思議なコーナーや、赤ちゃんを寝せて撮ることのできるベイビーアート等、様々な写真を撮る事が出来るフォトスポット企画展を開催した。

☆開催日時 平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月・休) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 4,711人

☆展示内容 トリックアートコーナー、など



トリックアートコーナーの様子



ベイビーアートコーナーの様子

スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る - THE ホラーハウス -」

「恐怖」×「科学」の新感覚体験型イベントとして、人はなぜ「恐怖」を感じるのかということに科学の側面から迫る企画展を開催した。

☆開催日時 令和元年7月13日(土)～8月25日(日) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 24,864人

☆展示内容 ZONE 1 「恐怖」とは...?、ZONE 2 ホラーハウスなど



会場の様子



来場者20,000人達成記念セレモニーの様子

スペースパーク企画展「昭和レトロ展 ～親子であそぼう！昭和ワールド～」

昭和の時代を思い出させる商店街や懐かしい遊びなど、観るだけではなく体験もできる企画展を開催した。

☆開催日時 令和元年12月7日(土)～令和2年1月7日(火) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 11,243人

☆展示内容 なつかしあそびコーナー、縁日コーナー、等身大パネル、六畳間再現、昭和の街並み、ゲームセンター、昭和から令和への進化比較展示ほか



昭和の街並み



六畳間再現

スペースパーク企画展「ロボットで遊ボット！」

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校との連携事業を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<ロボット展示・操作体験>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校、福島県立白河実業高等学校で製作したロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆開催日時 令和2年3月24日(土)～4月5日(日)10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

<ロボット工作ワークショップ>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆開催日時 令和2年3月29日(日)・4月5日(日)14時～16時

☆開催場所 実験工房

☆対 象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

<スペースパーク春場所 ロボット相撲大会>

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆開催日時 令和2年3月28日(土)・4月4日(土)14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小中学生の展示ゾーン入館者

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会、元鉄道ボランティアなどの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 令和元年10月12日(土)～14日(月・祝)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 525人

☆内 容 (1) 鉄道ジオラマショー

土・日・祝に1日2回行っているジオラマショーを、期間中は1日3回行った。鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

(2) Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。

(3) 鉄道関連写真展示

JR東日本郡山駅、元鉄道ボランティアの協力により、郡山駅の歴史に関する貴重な資料を展示した。

(4) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(5) ミニチュアリニアモーターカーコーナー

磁石の力で動く本格的なミニチュアリニアモーターカーを展示し、走行させた。

(6) 鉄道フェスティバルスタンプラリー

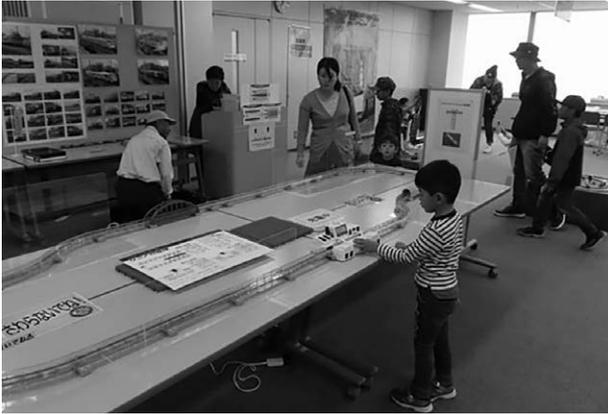
会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

(7) 顔出しパネルコーナー

大きな新幹線の写真をバックに記念写真を撮ることが出来るコーナーを設置した。

(8) 木製レールジオラマ

木製のレール上で、車両を手動で走らせて遊べるコーナーを設置した。



ミニチュアリアモーターカー



木製レールジオラマ

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約 50 分間)

☆開催時間 日曜日 13 時 30 分～ (イベント開催日は除く。)

☆開催場所 パソコン工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 16 人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和元年 4月	名前シール作り	2回	17人	自分の顔写真を使用して、オリジナルの名前シールを製作した。
令和元年 5月	メッセージカード作り	3回	19人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルのメッセージカードを製作した。
令和元年 6・7月	うちわ作り	4回	61人	自分の顔写真を使用してオリジナルのうちわを製作した。
令和元年 9月	ポストカード作り	5回	15人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルのポストカードを製作した。
令和元年 10月	マグネット作り	3回	41人	自由にフレームを作り顔写真を入れた、マグネットを製作した。
令和元年 11月	バッジ作り	5回	51人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのバッジを製作した。
令和元年 12月 2年1月	カレンダー作り	4回	33人	イラストを使用して、オリジナルのカレンダーを製作した。
令和2年 2月	ポチ袋作り	4回	23人	イラストや言葉を入れて、オリジナルのポチ袋を製作した。
令和2年 3月	名刺作り	0回	0人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

参加者数 260 人

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ゴールデンウィーク：令和元年4月27日(土)～5月6日(月・祝)
10時～17時

夏期：令和元年7月13日(土)～15日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ゴールデンウィーク：4,711人

夏期：2,793人

☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、日本大学東北高等学校、福島工業高等専門学校、福島大学、郡山第七中学校、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム個人会員、ムシテックワールド、福島県環境創造センター、新福島芸能倶楽部、折紙造形・四季折々、折紙倶楽部、福島県ハイテクプラザ、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウィーク>

ストームグラスでお天気と仲良くなろう、センサーを使ってロボットを動かそう、電気で切る？飛ぶタネをつくろう！、ガウス加速器で射的をしよう！、霧箱、虹色スコープなど

<夏期>

ミニブーメラン、バルーンアート、海の生き物を折ろう、プラスチックキーホルダー、放射性物質探索ゲーム、しゃぼん花、サイエンスフラワー、えんぴつの消しゴムスタンプなど



福島県立郡山萌世高等学校の様子



福島県環境創造センターの様子



福島工業高等専門学校の様子

<わくわく実験教室 科学でマジック>

☆講 師 郡山市ふれあい科学館職員

☆開催日時 平成31年4月27日(土)・29日(月)・
令和元年5月1日(水)・3日(金)・5日(日)
14時～14時30分

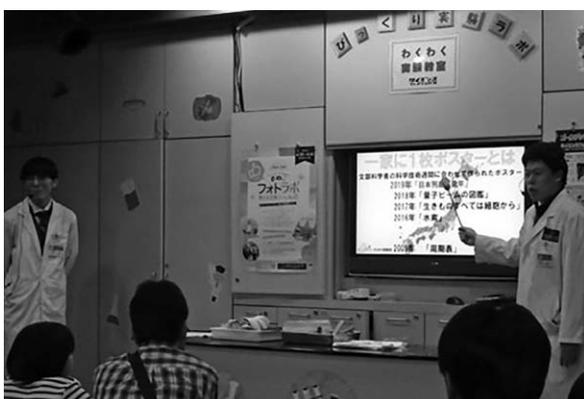
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 105 人
- ☆内 容 偏光板の性質を利用して黒い壁を出現させ、壁を通り抜けることが出来る不思議な箱を作った。



「わくわく実験教室 科学でマジック」の様子

<わくわく実験教室 一家に1枚 日本列島7億年>

- ☆講 師 郡山市ふれあい科学館職員
- ☆開催日時 平成31年4月28日(日)・30日(火)・
令和元年5月2日(木)・4日(土)・6日(月)
14時～14時30分
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 104 人
- ☆内 容 文部科学省で毎年制作している一家に1枚ポスターシリーズの14作目である「日本列島7億年」ポスターの解説および、化石をクリーニングする実験を行った。



「わくわく実験教室 一家に一枚 日本列島7億年」の様子

<自由研究ミニ教室 海の生き物を調べよう!>

- ☆講 師 郡山市ふれあい科学館職員
- ☆開催日時 令和元年7月13日(土)～15日(月・祝)

14時～14時30分

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 85人

☆内容 「海の生き物を調べよう！」をテーマに、自由研究の取り組み方について研究例を交えながら紹介した。



「自由研究ミニ教室 海の生き物を調べよう！」の様子

夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 令和元年7月20日(土)～8月25日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加団体 福島県立須賀川桐陽高等学校、福島工業高等専門学校、小原田小学校、福島県ハイテクプラザ、磐梯青少年交流の家、新福島芸能倶楽部、スペースパークボランティアの会

☆内容 びっくり箱、光と色の不思議～偏光板で作るカラフルな世界～、おどるおばけなど12種類の工作メニューを数日ごとに替えて行った。

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 1,956人

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッココップ等40種類）、サイエンスショー（パワフル空気のカ、超低温の世界）、

サイエンススクール（団体向け）（新メニュー）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験をした。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

*実験はスタッフがすべて行い、児童の皆さんは行いません

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生

☆参加者数 583人

☆内容 1・2年 ドレミの音で大実験（20分）

3年 磁石の性質（30分）

4年 空気（水）の性質（30分）

5年 振り子の運動（30分）

6年 燃焼のしくみ（30分）

3D天文シミュレーション（団体向け）（新メニュー）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行った。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生

☆参加者数 226人

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) 科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 令和元年10月26日（土）～27日（日） 11時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 271人

☆内容 「ゴミ0は（れいわ）、水素エネルギー、手作り！キラキラ・スーパーボ

ール、液状化のフシギ ～水のようになる砂～、骨伝導イヤホンを作って、骨で音を聞いてみよう、暗くなると光る？不思議なライトを作ってみよう！、偏光万華鏡、スライム（科学館）」の実験・工作を行った。



科学技術へのいざない開催の様子

5 教育普及活動

(1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルを、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議に身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 平成31年4月～令和2年3月（学校長期休業期間を除く。）

☆貸出回数 30回

(2) 講師派遣（アウトリーチ事業（出前講座））

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	令和元年5月18日(土) 19時～20時30分	芳賀 地域公民館	芳賀 地域公民館	41人	悪天候のため、星図の使い方、月のお話など
第2回	令和元年6月15日(土) 19時30分～21時	桃見台 地域公民館	桃見台 地域公民館	59人	悪天候のため、星図の使い方、「風船ロケット」工作など
第3回	令和元年7月14日(日) 19時30分～21時	橘 地域公民館	橘 地域公民館	50人	悪天候のため、星図の使い方、3D天文シミュレーションで宇宙の解説など
第4回	令和元年9月8日(日) 18時30分～20時	湖南 小中学校	湖南公民館	25人	月・木星・土星の観察、星の見方の紹介など
第5回	令和元年9月14日(土) 18時30分～20時	柴宮 地域公民館	柴宮 地域公民館	20人	月の観察、星の見方の紹介など
第6回	令和元年10月6日(日) 18時～19時30分	大槻ふれあい センター (大槻公民館)	大槻公民館	22人	悪天候のため、星図の使い方、望遠鏡の仕組みの紹介など
第7回	令和元年10月12日(土) 18時～19時30分	中央公民館	中央公民館	—	台風19号の影響により中止
第8回	令和元年11月9日(土) 17時30分～19時	西田公民館	西田公民館	22人	月の観察、星の見方の紹介など

参加者総数 239人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	令和元年6月13日(木) 13時35分～14時20分	日和田小学校	162人	「ぶっとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第2回	令和元年7月4日(木) 14時20分～15時20分	富田小学校 (科学クラブ)	21人	「偏光万華鏡・スィットレイ」を製作し、実験を行った。
第3回	令和元年8月29日(木) 14時10分～15時30分	海老根小学校	56人	「ぶっとびロケット・風船ロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第4回	令和元年9月12日(木) 13時50分～14時50分	大島小学校	209人	「ぶっとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第5回	令和元年9月19日(木) 13時35分～14時45分	富田小学校 (6年生)	161人	「ぶっとびロケット・ぶんぶんコマ」を親子で製作し、実験を行った。
第6回	令和元年10月1日(火) 13時15分～14時00分	桃見台小学校	104人	「風船ロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第7回	令和元年10月3日(木) 14時00分～15時00分	朝日が丘小学校	234人	「ぶっとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第8回	令和元年10月4日(金) 13時45分～14時30分	富田東小学校	342人	「ぶっとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第9回	令和元年10月9日(水) 13時35分～14時20分	小山田小学校	125人	「ぶんぶんコマ」を親子で製作し、実験を行った。
第10回	令和2年2月20日(木) 13時15分～14時00分	行健小学校	45人	「ぐにゅっとスライム」を製作し、実験を行った。

参加者総数 1,459人



工作の様子



実験の様子

こどもまつり

第54回郡山市こどもまつりにおいて、ミュージカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力した。

☆開催日時 令和元年5月5日(日)こどもの日 10時～15時

☆開催場所 ミュージカルがくと館 2階観測室及び練習室

☆活動内容 天体望遠鏡での天体観測と科学工作(ふうせんロケット)

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参加校 福島県立安積高等学校、日本大学東北高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和元年6月4日(火)	多目的研修室	交流会と活動テーマの検討	20人
令和元年7月2日(火)	宇宙劇場	流星群の観測方法	8人
令和元年8月22日(木)	宇宙劇場	望遠鏡の使い方	12人
令和元年10月1日(木)	宇宙劇場	天体・星景写真の撮り方	15人
令和元年11月7日(木)	宇宙劇場	プラネタリウムのしくみ	8人

参加者総数 63人

ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行った。

<ふくしま森の科学体験センター開館記念イベント『ムシテック祭り』>

☆開催日時 令和元年11月9日(土) 9時30分～16時

☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

< spffサイエンス屋台村 in コミュタン福島 >

☆開催日時 令和元年11月30日(土) 10時～17時

☆開催場所 福島県環境創造センター交流棟(コミュタン福島)

その他講師派遣

< 「台風19号で被災した市内3つの小学校をサポートしよう」事業 >

台風19号により大きな被害を受けた学校に直接訪問し、科学工作や実験等の理科学習を行うことで支援する活動を行った。

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和2年2月4日(火)	赤木小学校 3年生	乾電池チェッカーとパタパタマグネットの工作	55人
	赤木小学校 4年生	空気の性質の実験	54人
令和2年2月6日(木)	永盛小学校 5年生	3D天文シミュレーションの実演	52人
	永盛小学校 6年生	3D天文シミュレーションの実演	49人
令和2年2月12日(水)	小泉小学校 1～3年生	ビー玉顕微鏡とビー玉コマの工作	21人
	小泉小学校 4～6年生	3D天文シミュレーションの実演	31人
令和2年2月13日(木)	赤木小学校 1年生	コケコココップの工作	50人
	赤木小学校 2年生	風船ロケットの工作	37人
	赤木小学校 5年生	振り子の運動の実験	34人
令和2年3月3日(木)	永盛小学校 1年生	新型コロナウイルス感染症予防による臨時休校のため中止	
	永盛小学校 2年生	新型コロナウイルス感染症予防による臨時休校のため中止	

延べ参加者数 383人

< 福島テルサ子ども応援プロジェクト「[Mitaka 3D] 上映会」 >

☆派遣日時 令和元年7月19日(金)～20日(土)

☆派遣場所 福島テルサ

< 平成記念郡山こどものもり公園「星空の観察会」 >

☆派遣日時 令和元年7月28日(日) 18時～20時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

< 二本松市市民交流センター「全国同時七夕講演会」 >

☆派遣日時 令和元年8月4日(日) 18時～20時

☆派遣場所 二本松市市民交流センター

<大安場史跡公園市民参加型事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 令和元年8月11日(日) 18時～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

<郡山石筵ふれあい牧場「第1回流星観察体験」>

☆派遣日時 令和元年8月24日(土) 18時30分～20時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<郡山市上下水道局「親子活動!きれいな水へのかえりみちバスツアー」>

☆派遣日時 令和元年10月5日(土) 10時～14時

☆派遣場所 サンサングリーン湖南

<郡山石筵ふれあい牧場「親子水ロケット製作打ち上げ体験」>

☆派遣日時 令和元年10月19日(土) 10時～14時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<福島県県南高等学校教育研究会理科部会研修会>

☆派遣日時 令和元年11月9日(土) 10時～12時

☆派遣場所 郡山市ふれあい科学館

<カルチャーパークドリームランド感謝祭>

☆派遣日時 令和元年11月24日(日) 14時～16時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク 展示室

<エコチル親子ふれあい会>

☆派遣日時 令和元年12月1日(日) 10時～12時

☆派遣場所 郡山市音楽・交流館(ミューカルがくと館)

<こむこむ天文クラブ>

☆派遣日時 令和2年1月18日(土) 17時～18時30分

☆派遣場所 福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ

<第3回いなわしろフェスティバル 冬>

☆派遣日時 令和2年1月19日(日) 10時～15時

☆派遣場所 国立磐梯青少年交流の家

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和元年9月12日(木)～19日(木)

※17日(火)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実習生 4人

郡山女子大学短期大学部地域創成学科：2人

長岡造形大学造形学部視覚デザイン学科：1人

八洲学園大学生涯学習部生涯学習学科：1人

実習日	実習内容
令和元年9月12日(木)	開講式、実習説明、展示見学、科学の宅配便対応、接遇研修、宇宙劇場機器説明
13日(金)	団体対応実習、サイエンススクール対応、展示実習
14日(土)	展示実習、番組見学
15日(日)	展示実習発表準備、同発表
16日(月)	館内対応、番組見学、催し物見学、宇宙劇場実習準備
17日(火)	休館日
18日(水)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
19日(木)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

インターンシップ（就業体験）受入れ

<教員向け企業等体験研修>

福島県教育委員会の事業である企業等体験研修の教員を研修生として受け入れ、豊か

な人間性やコミュニケーション力、広い視野などの教員として求められる資質、能力の向上を図る教育に貢献するための研修を行う。

○福島県立須賀川支援学校経験者研修「社会体験研修」

☆開催日 令和元年7月30日(火)～7月31日(水)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 1人

○福島県立あぶくま支援学校2年次教員フォローアップ「社会奉仕等体験研修」

☆開催日 令和元年7月30日(火)～7月31日(水)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 2人

<聴覚支援学校職場体験実習>

聴覚支援学校の正規授業である職場体験実習の学生を研修生として受け入れ、科学館における実際の仕事を体験することで、適性や課題を把握し、適切な進路実現に貢献するための研修を行った。

○福島県立聴覚支援学校

☆開催期間 令和元年9月10日(火)～13日(金)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン

☆研修生 1人(高等部1学年)

(4) クラブ活動

天文科学クラブ

星空観察や科学実験などを、1年を通して体験することができるクラブを開催した。

☆開催回数 8回(令和元年6月～令和2年2月)

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 60人(Aクラス:30人、Bクラス:30人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
望遠鏡を作ろう	A	令和元年6月8日(土)	26人
	B	令和元年6月15日(土)	27人
鏡で実験	A	令和元年6月30日(土)	27人
	B	令和元年7月6日(土)	25人
天体観望会 ～月と惑星の観察～	AB合同	令和元年9月7日(土)	123人 (保護者を含む。)
音の秘密を探ろう!	A	令和元年10月19日(土)	16人
	B	令和元年10月26日(土)	16人

宇宙探検にでかけよう	A	令和元年11月9日(土)	23人
	B	令和元年11月16日(土)	26人
不思議素材	A	令和元年11月30日(土)	19人
	B	令和元年12月7日(土)	24人
プラネタリウムを作ろう	A	令和2年1月11日(土)	20人
	B	令和2年1月18日(土)	28人
氷の不思議	A	令和2年2月8日(土)	18人
	B	令和2年2月15日(土)	26人

延べ参加者数 444人



望遠鏡作りの様子



氷の実験の様子

(5) 講座・講演会

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

第36回星の講演会

<太陽の脅威とスーパーフレア>

☆講師 柴田 一成氏(京都大学教授・日本天文学会理事長)

☆開催日時 令和元年5月26日(日) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 143人

☆内容 太陽の表面で起きる激しい爆発現象「フレア」を始めとした太陽の活動と地球の関係を、映像を交えながら紹介いただいた。



開催中の様子



質問コーナーの様子

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

☆開催期間 平成31年4月～令和2年2月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 11回

※令和2年3月予定分を新型コロナウイルス感染症対策により中止

☆受講者総数 113人

<星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日 令和元年11月17日（日） 15時～17時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 星空案内人2人、星空案内人（準案内人）18人

☆内容 資格認定証授与

記念講演

講師：沢 武文（愛知教育大学名誉教授）

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に3期開催した。

<第1期：「宇宙カレンダー」を読む ～宇宙138億年の歴史を知る～>

☆開催回数 3回（平成31年4月～令和元年5月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
宇宙の誕生から天体ができるまで	平成31年4月24日(水)19時～21時	23人
天体の進化	令和元年5月15日(水)19時～21時	17人
太陽系の誕生と地球のあゆみ	令和元年5月29日(水)19時～21時	20人

延べ参加者数 60人

<第2期：『星のソムリエ』になりませんか?>

☆開催回数 8回(令和元年5月～11月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	令和元年5月8日(水)19時～21時	30人
星座を見つけよう	令和元年6月12日(水)19時～21時	32人
望遠鏡のしくみ	令和元年7月10日(水)19時～21時	28人
望遠鏡を使ってみよう	令和元年8月28日(水)19時～21時	26人
宇宙はどんな世界	令和元年9月18日(水)19時～21時	28人
星空の文化に親しむ	令和元年10月16日(水)19時～21時	27人
星空案内の実際	令和元年11月6日(水)19時～21時	28人
特別講座：講演会及び認定証授与式	令和元年11月17日(日)15時～18時	41人

延べ参加者数 240人

<第3期：「天文学ホットトピック」>

☆開催回数 3回(令和元年12月～令和2年2月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
2019年ノーベル物理学賞! (1) 系外惑星	令和元年12月11日(水)19時～21時	28人
2019年ノーベル物理学賞! (2) 宇宙の始まりと進化	令和2年1月15日(水)19時～21時	29人
大活躍!はやぶさ2	令和2年2月12日(水)19時～21時	25人
見えた!ブラックホール	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月4日(水)中止	0人

延べ参加者数 82人



天文カレッジ第1期講座の様子



天文カレッジ第2期講座の様子



天文カレッジ第3期講座の様子

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

<科学ゼミナール「手づくり乾電池教室」>

☆講師 及川輝彦氏

(一般社団法人 電池工業会)

☆開催日時 令和元年9月28日(土) 14時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆参加者数 27名

☆内容 身のまわりで広く使われている電池の種類や処理の方法などを学んだほか、自分の体を使って作る人間電池の実験やオリジナルの乾電池製作を行う講座を開催した



「手づくり乾電池教室」の様子

<日本大学工学部との連携事業>

「オルゴールを作ろう! ～太陽の光で音が鳴る!?!～」

☆講師 遠藤拓氏(日本大学工学部教授)

☆開催日時 令和元年10月19日(土) 14時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学1年生～中学3年生(小学3年生以下は保護者同伴)

☆参加者数 28人

☆内容 LEDは電気で光るだけでなく、光で電気を作ることができることを利用して、太陽などの強い光を受ける鳴り出すオルゴール作りの講座を開催した。



「オルゴールを作ろう! ～太陽の光で音が鳴る!?!～」の様子

<科学ゼミナール「キャンドルをつくろう」>

☆講師 郡山市ふれあい科学館職員

- ☆開催日時 令和元年 11 月 16 日 (土)
- ① 11 時 ~ 11 時 50 分
- ② 13 時 30 分 ~ 14 時 20 分

☆開催場所 実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 21 人

☆内 容 「クリスマス」が近づく時季にちなんで、科学ゼミナール「キャンドルをつくろう」の様子
展示ゾーン入館者を対象にキャンドル
作りの講座を開催した。講座では、オリジナルのキャンドル作りを
行った。



< 福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱 >

「科学をダンスで表現する」

☆講 師 鈴木 裕美子 氏
(福島大学特任教授)

☆開催日時 令和元年 11 月 24 日 (日)
14 時 ~ 16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 幼児 ~ 中学 3 年生
(小学 3 年生以下は保護者同伴)

☆参加者数 12 人

☆内 容 ダンスの基本となる個人の動きや、様々な動きを複数人で組み合わせる練習、そして、科学を表現するダンスを参加者同士で相談して作りあげる講座を開催した。



「科学をダンスで表現する」の様子

< クリスマス企画「サンタクロースのキラキラスライム」 >

☆講 師 郡山市ふれあい科学館職員

☆開催日時 令和元年 12 月 22 日 (日) 10 時 ~ 17 時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 187 人

☆内 容 「クリスマス」の時季にちなんで、展示ゾーン入館者を対象に、サンタクロースが
教えるキラキラスライム作りのブースを
出展した。



「クリスマス企画「サンタクロースのキラキラスライム」の様子

< 科学ゼミナール「ロボットフェスティバル」 >

☆講 師 ロボットゆうえんちのみなさん

☆開催日時 令和 2 年 2 月 1 日 (土) ・ 2 日 (日)

- 10時～17時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 456人
- ☆内 容 一般社団法人パイプロボット普及協会、
ロボットゆうえんちと連携して、ロボッ
ト操作体験、ロボット・ダンスステージ、
パイプロボコン 郡山大会などを行うロボ
ットフェスティバルを開催した。



科学ゼミナール「ロボットフェスティバル」の様子

<科学ゼミナール「香りの魅力 ～オリジナル香水を作ってみよう～」>

- ☆講 師 宇田川 亜希氏
(曾田香料株式会社調香師)
- ☆開催日時 令和2年2月22日(土)
13時30分～16時30分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学5年生以上
(小学生は保護者同伴)
- ☆参加者数 32人
- ☆内 容 「香り」に関する講座を開催した。講座では、郡山市内に工場を持つ曾田香料株式会社の調香師の方に講師を依頼し、「香り」に関する講話や、オリジナル香水づくりを行った。



科学ゼミナール「香りの魅力 ～オリジナル香水を作ってみよう～」の様子

連携事業

ワークショップ

<「望遠鏡を作って観よう！」>

- ☆講 師 縣 秀彦氏 (国立天文台天文情報センター 准教授・普及室長)
- ☆開催日時 令和元年11月10日(日) 15時～19時
- ☆開催場所 多目的研修室、郡山駅西口駅前広場(中央広場)
- ☆参加者数 23人
- ☆内 容 望遠鏡による天体観察の面白さと観察法を紹介いただいたのち、国立天文台天体望遠鏡キットを組み立てて実際の星空での観察を行った。



開催中の様子



開催中の様子

講座

<「ブラックホールを知ろう！」> ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆講師 田崎 文得氏 (国立天文台水沢 VLBI 観測所)

☆開催日時 令和2年3月14日(土)

☆開催場所 多目的研修室

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆対象 一般(当日自由参加)

開催日時	観望内容	参加者数
平成31年4月13日(土)18時30分～19時30分	月など	約50人
令和元年5月11日(土)19時～20時	月など	約50人
令和元年6月8日(土)19時30分～20時30分	月など	悪天候のため中止
令和元年7月13日(土)19時30分～20時30分	月・木星など	悪天候のため中止
令和元年8月10日(土)19時～20時	月・木星・土星 など	約220人
令和元年9月7日(土)19時～20時	月・木星・土星 など	約200人
令和元年10月5日(土)18時～19時	月・木星・土星 など	約40人
令和元年11月2日(土)17時～18時	月・土星など	約60人
令和2年3月7日(土)18時30分～19時30分	月など	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため 中止



駅前観望会の様子



駅前観望会の様子

天体観望会

<部分日食観望会>

太陽投影板や日食グラスなどを使用して安全に部分日食を観察する観望会を開催した。

☆開催日時 令和元年12月26日(土) 8時30分～11時40分

☆開催場所 展望ロビー

☆参加者数 約30人

☆内 容 太陽投影板、日食グラスなどによる観察コーナー
太陽・日食の解説コーナー



部分日食観望会の様子

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆開催日時 令和元年4月～令和2年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた内容などを、写真や解説文を交えたパネル展を開催する。

テーマ	展 示 期 間 (予定)
KAGAYA 写真展	平成31年4月1日(月)～7日(日)
天体美術館	平成31年4月11日(木)～令和元年6月30日(日)
月世界旅行	令和元年7月6日(土)～9月29日(日)
人工衛星	令和元年10月5日(土)～令和2年1月7日(火)
オーロラ写真展	令和2年1月11日(土)～2月28日(金) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 2月29日(土)～3月31日(火)は中止

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間 (予定)
小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星「リュウグウ」探査について	令和元年8月1日(木)～令和2年3月31日(火)
2019年ノーベル賞紹介パネル展	令和元年10月12日(土)～令和2年1月7日(火)

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行った。

<全国プラネタリウム大会 2019 福岡>

☆開催日時 令和元年6月3日(月)～5日(水)

☆開催場所 福岡市科学館

<全国科学館連携協議会 令和元年度第1回東北ブロック会議>

☆開催日時 令和元年10月10日(木)～11日(金)

☆開催場所 フェライト子ども科学館

7 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

三鷹展

- ☆展示期間 平成31年4月1日(月)～14日(日)
- ☆展示場所 天文・科学情報スペース (東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹天文・科学情報スペース
- ☆内 容 第3～5回コンテスト選出写真27点

二本松展

- ☆展示期間 令和元年7月30日(火)～8月25日(日)
- ☆展示場所 二本松市民交流センター (二本松市)
- ☆主催共催 NPO 法人まちづくり二本松
- ☆内 容 第5回コンテスト選出写真40点

三鷹展

- ☆展示期間 令和2年2月21日(金)～3月31日(火)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月19日(木)～25日(水)のみ開館
- ☆展示場所 天文・科学情報スペース (東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹天文・科学情報スペース
- ☆内 容 第5回コンテスト選出写真40点
※ギャラリートークを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

いわき展

- ☆展示期間 令和2年2月29日(土)～3月29日(日)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 これまでのコンテスト選出写真から、浜通りでの撮影作品を中心に33点

8 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開した。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開した。

9 調査・研究

(1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
令和元年6月3日～5日	全国プラネタリウム大会 2019・福岡(福岡市科学館)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査並びに当館の事例発表

(2) 天文学術会議調査

最新の天文学や天文普及の手法に関する調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
令和元年9月11日～13日	日本天文学会 2019 秋季年会(熊本大学)	最新の天文学に関する情報収集及び運営に関する調査

(3) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学館・博物館でつくる協議会などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調査日	調査先	内容
令和元年10月10日(木)・11日(金)	全国科学館連携協議会 令和元年度第1回東北ブロック会議(フェアイト子ども科学館)	東北地域の科学館に関する情報収集、ワークショップに関する事例発表及び調査
令和2年2月13日(木)・14日(金)	令和元年度第2回全国科学博物館協議会総会及び第27回研究発表大会等(高知みらい科学館)	全国の科学博物館に関する情報収集及び施設視察

(4) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業が出展する展示会の視察を行った。

調査日	調査先	内容
令和元年9月1日～7日	第25回 ICOM(国際博物館会議) 京都大会 2019(国立京都国際会館)	世界の博物館の活動に関する調査
令和元年11月23日	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2019(ビッグパレットふくしま)	最先端の宇宙開発やロボットに関する情報収集

10 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。紙を折って「より強いペーパーブリッジを作ろう」などの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月1回 日曜日(令和元年5月～令和2年3月) 10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 10回

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、小野 一豊氏
横田 俊徳氏、横田 香織氏

☆内容 糸車で自由研究をしよう、ギヤボックスを作り台車を走らせよう、
空気を使って発明しよう～ホバークラフト～、身近な植物でオブジェを作ろうなど。



空気を使って発明しよう

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 令和元年4月～令和2年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 望遠鏡工作、天体観測など

※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した。

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し情報交換や科学普及のイベントを行った。

<第1回運営協議会・ワーキンググループ合同会議>

☆開催日時 令和元年5月23日(木) 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

<第2回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和元年7月4日(木) 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

<第3回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和元年10月24日(木) 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

<第2回運営協議会・第4回ワーキンググループ合同会議>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆開催日時 令和2年3月12日(木) 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称:S.P.V)」が発足し、今年度16年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



スペースパークボランティアの会

<スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション	ボランティア研修
平成31年3月1日(金)～4月30日(火)	令和元年5月19日(日)	令和元年6月9日(日)

※登録前オリエンテーション

応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催した。

※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催した。



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

<登録状況>

☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	11人	31人	33人	75人
令和元年度登録者	2人	3人	1人	6人
合 計	13人	34人	34人	81人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県外
前年度からの登録更新者	40人	35人	43人	30人	2人	65人	7人	3人
令和元年度登録者	1人	5人	3人	2人	1人	6人	0人	0人
合 計	41人	40人	46人	32人	3人	71人	7人	3人

☆年代別

年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人 数	1人	6人	6人	4人	19人	29人	13人	3人

※ 80代は、90代含む

<ボランティア活動>

○案内グループボランティア

☆活 動 日 時 平日：午前の部（9時30分～13時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 309 時間

☆延べ活動人数 85 人

○科学グループボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9 時 30 分～13 時）
午後の部（12 時 30 分～16 時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 1,402 時間

☆延べ活動人数 383 人

○天文グループボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 217 時間

☆延べ活動人数 83 人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

事業名	開催日時	開催場所	参加人数	内 容
中町わくわくフェスタ	令和元年7月6日(土) 11時～16時	なかまち夢通り	—	科学工作
星空観望会	令和元年7月20日(土) 19時～21時	小野町ふれあいの 森公園	約 15 人	天体観望会
福島再生可能エネルギー研究所一般公開	令和元年7月27日(土) 9時30分～16時	福島再生可能エネ ルギー研究所	—	科学工作
二瀬公民館	令和元年7月27日(土) 10時～11時30分	二瀬公民館	約 50 人	科学工作
希望が丘図書館	令和元年7月30日(火) 10時～11時30分	希望が丘図書館	約 25 人	科学工作
星空観望会	令和元年8月3日(土) 19時～21時	小野町ふれあいの 森公園	約 30 人	天体観望会
星空観望	令和元年8月3日(土) 19時～21時	須賀川市民交流セ ンター	約 54 人	天体観望会
星空観望	令和元年8月7日(水) 19時～21時	仁井田公民館	約 30 人	天体観望会
星空観望会	令和元年8月8日(木) 19時～21時	大島地域公民館	約 40 人	天体観望会

星空観察会	令和元年8月17日(土) 19時30分～21時	小野町ふれあいの 森公園	約 30 人	天体観望会
星空観察会	令和元年8月18日(日) 19時～21時	安子ヶ島小学校	約 42 人	天体観望会
ハイテクプラザ	令和元年9月8日(日) 10時～15時	ハイテクプラザ	—	科学工作
星空観察会	令和元年9月14日(土) 19時30分～21時	小野町ふれあいの 森公園	約 30 人	天体観望会
大槻公民館	令和元年10月26日(土) 11時～13時	大槻公民館	—	科学工作
熱海地区 三世代交流会	令和2年1月11日(土) 9時30分～12時	熱海公民館	—	科学工作

<自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆開催日時 令和2年2月29日(土)・3月1日(日) 10時～16時

☆開催場所 22階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 昔なつかし紙芝居、昔遊び体験、ぬりえ
科学グループ ホバークラフト作り、ホバークラフト乗用体験
天文グループ 星座早見盤づくり、似顔絵、写真パネルの展示

<館事業サポート活動>

○サイエンスフェスティバル(夏期)

科学グループ

☆開催日 令和元年7月13日(土)～14日(日)

☆メニュー しゃぼん花

○夏休み工作コーナー

科学グループ

☆開催日 令和元年8月13日(火)

☆メニュー しゃぼん花

○鉄道フェスティバル

科学グループ

☆開催日 令和元年10月12日(土)～14日(月)

☆メニュー ぶんぶんごま

<科学館の事業における天体観望会等>

○駅前観望会

- ☆開催回数 6回
- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場
- ☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

- ☆開催回数 7回
- ☆開催場所 市内公民館
- ☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

- ☆開催回数 5回
- ☆開催場所 大安場史跡公園、展望ロビー、平成記念こどものもり公園、石筵ふれあい牧場
- ☆内 容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<科学グループ研修>

○科学ボランティアツアー（自主研修）

- ☆開催日 令和元年5月19日（日）
- ☆開催場所 安積疏水沼上発電所など

<科学グループ自主勉強会>

○科学ボランティア勉強会

- ☆開催日 令和元年11月17日（日）
- ☆テーマ バナアツ研修報告、環境学ミニ講座2019など
- ☆開催場所 多目的研修室

<令和元年度総会>

令和元年度活動報告、役員選出案、令和2年度活動計画案を審議し、また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

- ☆開催日時 令和2年3月8日（日） 13時30分～14時30分
- ☆開催場所 多目的研修室

<講演会（出前講座）>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

- ☆開催日 令和2年3月8日（日）
- ☆開催場所 多目的研修室

<S.P.V 広報活動>

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.Vの活動紹介ウェブサイト更新及び広報

Ⅲ 広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開した。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年5回発行した

☆構成 A4カラー2ページ

☆発行総数 350,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図った。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数 219回

☆参照回数 228,311回

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数 12回

☆配信先 975か所（令和2年3月現在）

テレビスポット

☆期間等 令和元年7月13日～8月18日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」・スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る - THE ホラーハウス -」

☆期間等 令和元年12月7日～29日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」・スペースパーク企画展「昭和レトロ展 - 親子であそぼう！昭和ワールド -」

新聞広告

☆掲載日等 令和元年12月20日・令和2年1月1日 朝日新聞

☆内 容 冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」・スペースパーク企画展「昭和レトロ展－親子であそぼう！昭和ワールド－」

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

(2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布した。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内(88) 市外(33)
小学校	市内(56)、市外(387)
中学校	市内(29)、市外(200)
高等学校	市内(8)、市外(53)
大学・専門学校	市内(31)、市外(24)
公民館	市内(43)
関係機関・道の駅など	市内(58)、市外(75)

2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を県内外に広く紹介するため、特に県内幼稚園、小学校や公民館をきめ細かく訪問し、来館者の底辺の拡大を図るための営業活動を積極的に展開した。

営 業 訪 問 先	
幼稚園・保育所	市内(3)、市外(8)
小学校(義務教育学校含む)	市内(53)、市外(55)
中学校(義務教育学校含む)	市内(28)、市外(14)

市町村教育委員会	市外(2)
市町村公民館	市内(41)、市外(15)
ホテル・商店・病院など	ホテル(18)、観光業者(5)、商店(15)、病院(4)、 その他(20)

Ⅳ 令和2年度事業活動計画

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		19時(※)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	19時(※)

※金曜日のみ投映

※夏休み期間及び秋・冬・春期間は別途番組開始時刻を定め実施

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
光のカーテン —オーロラ紀行—	令和2年4月1日(水)～30日(木)
宇宙カレンダー	令和2年5月1日(金)～6月30日(火)
ブラックホール	令和2年7月1日(水)～8月30日(日)
宇宙と生命 —系外惑星の世界—	令和2年9月1日(火)～10月31日(土)
太陽系の小さな仲間たち	令和2年11月1日(日)～12月30日(水)
星座ができるまで	令和3年1月2日(土)～2月28日(日)
星空100万年の旅	令和3年3月2日(火)～31日(水)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人と一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

放映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により放映回は異なる。）

番組タイトル	放映期間
宇宙ミステリーツアー2020	令和2年4月1日(水)～5月31日(日)
たなばたの星	令和2年6月6日(土)～7月12日(日)
宇宙の金・銀・銅	令和2年7月18日(土)～8月30日(日)
月をみよう!	令和2年9月5日(土)～11月29日(日)
うごかない星・うごく星	令和2年12月5日(土)～令和3年1月31日(日)
いろいろな星 -なないろどうわ-	令和3年2月6日(土)～3月31日(水)

学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	放映期間
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日(第1・2回目)
日なたと日かげ(小学校中学年以上)	
月と星の動き(小学校中学年以上)	
月と太陽(小学校高学年以上)	
地球と宇宙(中学生以上)	
宇宙のお話(中学生以上)	

幼児番組

※学習番組枠で希望により放映(幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	令和2年4月～5月
たなばたとあまのがわ	令和2年6月～7月
つきってどんなところ？	令和2年8月～10月
ながれほしをさがそう	令和2年11月～12月
なないろどうわとほしめぐり	令和3年1月～3月

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

投映時間：7/18～8/24の第1・3・5回目、12/5～1/11の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目、平日第5回目

番組タイトル	投映期間
新・恐竜大進撃	令和2年7月18日(土)～8月24日(月)
ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～	令和2年12月5日(土)～令和3年1月11日(月)

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。(字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記サークル」)

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。

(年2回、令和2年8月、令和3年3月実施予定)

☆定 員 各220人

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
今夜の星空と日本の星座	令和2年5月28日(木)
今夜の星空と天の川の旅	令和2年8月27日(木)
今夜の星空と大接近する惑星	令和2年11月26日(木)
今夜の星空と1等星めぐり	令和3年3月4日(木)

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
はるのほし	令和2年4月16日(木)
ほしのどうぶつえん	令和2年5月21日(木)
ほしぞらのたび	令和2年8月26日(水)
おつきさまとあそぼう!	令和2年10月15日(木)
ほしのクリスマスかい	令和2年12月17日(木)・22日(火)
おたんじょうびのせいざ	令和3年2月18日(木)・24日(水)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

☆内 容 七夕やお月見・クリスマス等の年中行事や特定のテーマを集中的に解説する。

(年6回、令和2年8月ほか実施予定)

☆定 員 各220人

英語版プラネタリウム

英語における解説を加えたプラネタリウム投映を行い、市内・県内在住の外国人の観覧機会を提供する。

☆内 容 英語による星座解説と宇宙の話題の紹介。

(年2回実施予定)

☆定 員 各220人

プラネタリウムフェスティバル

全国プラネタリウム大会2020・郡山の開催を記念し、期間限定でのドーム映像番組の投映や、全国で特色あるプラネタリウム解説者による講演を行う。

<ドーム映像まつり>

☆開催日時 令和2年5月2日(土)～6日(水)、5月9日(土)～6月13日(土)
の毎週土曜

☆内 容 期間限定でのドーム映像番組8本の投映。

☆定 員 各220人

<特別投影「星兄の爆笑! プラネタリウムショー」>

☆開催日時 令和2年6月7日(日)

① 14時30分～15時30分 ② 16時30分～17時30分

☆内 容 爆笑星空解説を全国で行っている星のお兄さん(星兄:田畑英樹氏)のプラネタリウム解説。

☆定 員 各220人

<講演会と「時の記念日100年記念 ブラック星博士ライブショー」(仮称)>

☆開催日時 令和2年11月3日(火)

☆内 容 時の記念日100周年と関連し、日本標準時の子午線のある街・明石市立天文科学館から、ブラック星博士と井上毅館長を迎えて、時と天文の関わりのお話を紹介する講演会とプラネタリウムライブショーを行う。

☆定 員 各220人

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映する。

☆開催日時 平日(祝日・学校休業期間等を除く。)15時30分～16時15分、
土曜・日曜・祝日 17時～17時45分、毎週金曜日19時～19時45分

☆観 覧 券 当日発売

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

宇宙劇場コンサート

季節にあわせて、宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサート等を開催する。

<サマーコンサート>

☆開催日時 令和2年7月4日(土) ① 14時30分～15時30分 ② 17時～18時

☆演 奏 者 名渡山 遼さん(ウクレレ奏者)

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、

これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に提供する。

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借入物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置する。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日時 不定期（土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等で開催）

☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 科学工作

科学に関する情報提供（科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示）

宇宙メダカの展示

(3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施する。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使っ

た科学実験を実施する。(約 20 分間)

☆開催日時 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

☆内 容 びっくり！超低温の世界、見た目にだまされるな！光の実験、静電気の科学など

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。(約 20 分間)

☆開催日時 毎日 11 時 30 分～、14 時～

(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

☆内 容 空気で実験、時間をはかろう！、いろいろな紙など

3D天文シミュレーション

3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星探査機打ち上げ時に JAXA が配信を行う映像をリアルタイムで公開する。

(2) 展望ロビーパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(3) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9 mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代

の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の① 11時～ ② 15時～ (約20分間)

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分(ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

☆料 金 200円(約5分間)

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん! 鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高96mの幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置する。

ハロウィン

☆開催日時 令和2年9月下旬～10月31日(土) 日没～20時

クリスマス

☆開催日時 令和2年11月下旬～12月25日(金) 日没～20時

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」

アーチェリーやサッカーの的入れなど、いろいろなふわふわスポーツ競技に挑戦できる企画を開催する。来場者には空気の流れや放つ角度など、科学的に考えることで高得点をめざしていただく。

☆開催日時 令和2年5月2日(土)～6日(水・祝) 10時～17時

- ☆開催場所 多目的研修室
☆対 象 展示ゾーン入館者
☆展示内容 アーチェリー、サッカー、バスケットボールなど。

スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」

およそ4500年も昔に建造されたピラミッド。今なお謎の多いピラミッドは、なぜ、どうやって建てられたのでしょうか？科学の力でピラミッドの謎に迫る。

- ☆開催日時 令和2年7月18日(土)～8月24日(月) 10時～17時
☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
☆対 象 展示ゾーン入館者
☆展示内容 ピラミッドを作ろう、挑戦！ピラミッドパズル、太陽と星が知らせる時、ミイラのひみつなど。

スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」

音符をシュート！？直感的に自分の身体を動かして、音や光が出る楽器を奏で、デジタルアートを楽しめます。ふだん見ることのできない世界の楽器も大集合！

- ☆開催日時 令和2年12月5日(土)～令和3年1月11日(月) 10時～17時
☆開催場所 多目的研修室
☆対 象 展示ゾーン入館者
☆展示内容 楽器体験コーナー、サウンドアクティブステージ、積木でリズム、ねらってオルゴールなど。

スペースパーク企画展「ロボットで遊ボット」

ロボット製作等に取り組んでいる福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校及び福島県立白河実業高等学校と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。また、操作体験ロボットを使った競技大会や工作教室も開催する。

- ☆開催日時 令和3年3月24日(水)～4月5日(月) 10時～17時
☆開催場所 多目的研修室
☆対 象 展示ゾーン入館者
☆展示内容 ロボット展示、操作体験
大会やコンテストに出場したロボット等の展示や操作体験を行う。
ロボット工作
簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。
ロボット大会
展示している操作体験ロボットを使った競技大会を行う。

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡

山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料を活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 令和2年10月10日(土)・11日(日)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室

☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者

☆内容 鉄道フェスティバルスタンプラリー、Nゲージ鉄道車両操作体験、プラレールコーナーなど

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

☆開催日時 日曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 パソコン工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 16人

☆内容 うちわ作り、おもちゃでプログラミング、ガーランド作り、すごろく作りなど

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催時間 ①ゴールデンウィーク期間：令和2年5月2日(土)～6日(水・祝)、

②夏期期間：令和2年7月18日(土)・19日(日)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外の他機関職員など

☆内容 プラ板キーホルダー、ダイラタンシーの実験、万能風車ほか

夏休み科学実験・工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる実験・工作コーナーを開催する。

☆開催時間 令和2年7月21日(火)～8月24日(月)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 光るスライム、たまらんコップ、カラフル化石ほか

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催する。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体等

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッコココップ等 25 種類）

サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験を行う。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生

☆定員 50人程度

☆内容 1・2年 ドレミの音で大実験(20分) 風船で大実験(20分)

3年 磁石の性質(30分)

4年 空気(水)の性質(30分)

5年 振り子の運動(30分)

6年 燃焼のしくみ(30分)

3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小中高校等の学校

☆定員 1回30人程度

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) 科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行う。

- ☆開催日時 令和2年11月28日(土)～29日(日) 11時～16時(予定)
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対象 象 展示ゾーン入館者

5 教育普及活動展

(1) 学校向け巡回

ホワイエ企画展で使用したパネル等を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議さなどを身近に触れることができる巡回展を行う。

- ☆開催期間 令和2年4月～令和3年3月(学校長期休業期間を除く。)
- ☆対象 象 市内小中学校

(2) 講師派遣(アウトリーチ事業(出前講座))

星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

- ☆開催時期 令和2年5月から11月まで
- ☆開催回数 8回(予定)
- ☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定
- ☆定員 各100人程度(各公民館で募集)

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

- ☆開催時期 平日13時以降(各月申込み月日で調整する。2～3団体程度)
(ゴールデンウィーク、学校長期休業期間等を除く。)
- ☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など
- ☆対象者数 20人以上150人程度の団体(要相談)

こどもまつり

郡山市から第55回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営についての協力要請があり、ミューカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する。

- ☆開催日時 令和2年5月5日(火・祝)こどもの日
- ☆開催場所 ミューカルがくと館
- ☆活動内容 天体望遠鏡での天体観測と科学工作等
- ※主催：こどもまつり実行委員会

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する

☆開催期間 令和2年6月、7月、9月、10月、11月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

ふくしまサイエンスぶらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぶらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

☆開催期間 通年

講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 令和2年9月2日(水)～9日(水)

※7日(月)の休館日を除く7日間

インターンシップ(就業体験)受入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ(就業体験)や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

(4) クラブ活動

天文科学クラブ

天文分野は、宇宙劇場(プラネタリウム)や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を高め、科学分野は、実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催期間 土曜日 9時45分～11時45分を基本とする

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場ほか

☆開催回数 8回(令和2年6月～令和3年2月)

- ☆対 象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 30人×2クラス（合計60人）

(5) 講演会

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

<第37回星の講演会「はやぶさ・はやぶさ2と福島」>

- ☆開催日時 令和2年2月11日（木・祝） 16時～17時30分
- ☆講 師 出村 裕英氏（会津大学 教授）
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆定 員 100人
- ☆内 容 はやぶさ2が帰還するのに合わせて、はやぶさ2の軌跡やの探査から明らかになってきた小惑星「リュウグウ」についてご紹介いただく。

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、12回（通年）
- ☆対 象 一般（高校生以上）

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 12回（令和2年5月～令和3年3月）
- ☆対 象 一般（高校生以上）
- ☆募集人数 30人

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

- ☆概 要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。
- ☆開催回数 3回程度
- ☆連 携 先 福島大学、日本大学など

連携事業

<連携機関等からの講師招聘による天文学の講座>

- ☆概要 連携機関の専門家を講師に招いての講座・ワークショップを行う。
- ☆開催回数 2回程度

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
- ☆対象 一般（当日自由参加）

天体観望会

<部分日食観望会>

太陽投影板や日食グラスなどを使用して安全に部分日食を観察する観望会を開催する。

- ☆開催日時 令和2年6月21日（日） 16時～18時
- ☆開催場所 郡山駅前歩行者連絡橋
- ☆内容 太陽投影板、日食グラスなどによる観察コーナー

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

- 市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行う。
- ☆実施期間 令和2年4月～令和3年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートする。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催する。

テーマ	展示期間
太陽系の惑星たち	令和2年4月11日(土)～6月30日(火)

銀河の姿	令和2年7月4日(土)～9月30日(水)
いろいろな望遠鏡	令和2年10月3日(土)～12月13日(日)
星座の世界	令和2年12月19日(土)～令和3年2月28日(日)
第6回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和3年3月6日(土)～5月30日(日)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行う。

7 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

<第6回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト>

☆募集締切 令和2年11月8日(日)

☆展示期間 令和3年3月(予定)

☆審査員 鈴木 一雄氏(自然写真家)、渡部 潤一氏(天文学者)

☆展示場所 23階ホワイエ

<「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等 3か所程度

8 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開する。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成

し、ウェブサイトで公開する。

9 調査・研究

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会などが主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行う。

また、先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

10 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 令和2年5月～令和3年2月 毎月1回日曜日(年10回) 10時～12時

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

ふくしまサイエンスぶらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぶらっとフォーム」に加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

☆開催期間 通年

全国プラネタリウム大会2020・郡山

日本プラネタリウム協議会主催の全国プラネタリウム大会を共催し、当館を会場に全国のプラネタリウム関係者による研究発表や基調講演、ブース展示等を通して、プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育および天文普及に寄与する。

☆開催期間 令和2年6月8日(月)～10日(水)

(2) ボランティア活動の推進

<スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

—活動開始までの流れ—

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

<スペースパークボランティアの会活動計画>

「案内グループ」

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居の実演
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

「科学グループ」

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明、サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

「天文グループ」

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助
- ☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

「運営部会」

- ☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。
- ☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。
- ☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

V 令和2年度広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開する。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年5回発行する。

☆構成 成：A4カラー2ページ

☆発行総数：375,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図る。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、天文の紹介などを毎月メールで配信する。

テレビスポット

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

新聞広告

新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載する。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努める。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示な

どを行う。

(2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布する。

2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を市内外に広く紹介するため、特に県内幼稚園、小学校や公民館をきめ細かく訪問し、来館者の底辺の拡大を図るための営業活動を積極的に展開する。

Ⅵ 予算・決算

1 令和元年度決算

収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	2,250	
指定管理料収入	241,594,174	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	25,852,840	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	81,000	事業参加者負担金収入
販売収入	102,900	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	209,573	カフェ光熱水費・企画展ゲーム
雑収入	304,120	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	0	
合計	268,146,857	

収入合計 ￥268,146,857

支出 事業費（科学館施設管理）

科目	金額	説明
給料手当	70,766,173	1 職員費 124,138,292
福利厚生費	18,808,491	
臨時雇賃金	34,563,628	2 各種業務委託 58,225,975
旅費交通費	665,900	
通信運搬費	1,394,976	3 光熱水費 20,760,674
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,699,290	4 施設管理費 37,610,733
修繕費	1,708,692	
印刷製本費	1,573,114	
賃借料	5,837,848	
諸謝金	200,000	
手数料	73,004	
租税公課	18,749,272	
負担金支出	221,240	
委託費	58,225,975	
広告宣伝費	1,211,000	
燃料費	90,199	
光熱水料費	20,760,674	
損害保険料	382,473	
食糧費	0	
減価償却費	2,803,725	
合計	240,735,674	

事業費（科学館主催事業）

科目	金額	説明
旅費交通費	205,900	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	16,390	2 展示ゾーン運営
消耗品費	4,063,931	3 展示ロビー利活用事業
印刷製本費	2,149,884	4 教育普及活動
賃借料	6,144,911	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
諸謝金	179,600	6 その他
手数料	6,174	
租税公課	2,000	
負担金支出	0	
委託費	10,252,730	
広告宣伝費	194,400	
損害保険料	80,500	
食糧費	101,741	
合計	23,398,161	

支出合計 ￥264,133,835

収支差額 ￥4,013,022

参考

使用料名	金額	説明
ふれあい科学館観覧料	24,998,640	宇宙劇場 56,328人 常設展示 68,875人 ワイヤ-パスポート79人
ふれあい科学館使用料	854,200	ピュースコープ利用回数 4,016回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 2,263回
合計	25,852,840	

2 令和2年度予算

収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	0	基本財産利息収入
指定管理料収入	241,874,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	27,000,000	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	150,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	179,000	カフェ光熱水費
雑収入	335,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	15,147,000	
合計	284,685,000	

収入合計 ￥284,685,000

支出 事業費（科学館施設管理）

科目	金額	説明
給料手当	73,494,000	1 職員費 133,396,000
福利厚生費	20,226,000	
臨時雇賃金	39,676,000	2 各種業務委託費 58,526,000
旅費交通費	464,000	
通信運搬費	2,258,000	3 光熱水費 22,941,000
消耗品費	2,872,000	
修繕費	2,300,000	4 施設管理費 34,526,000
印刷製本費	1,832,000	
賃借料	6,054,000	
諸謝金	200,000	
手数料	80,000	
租税公課	13,673,000	
負担金支出	203,000	
委託費	58,526,000	
広告宣伝費	1,300,000	
燃料費	141,000	
光熱水料費	22,941,000	
損害保険料	319,000	
食糧費	26,000	
減価償却費	2,804,000	
合計	249,389,000	

事業費（科学館主催事業）

科目	金額	説明
臨時雇賃金	90,000	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	405,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	116,000	3 展示ロビー利活用事業
消耗品費	4,809,000	4 教育普及活動
印刷製本費	4,487,000	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
賃借料	8,690,000	6 その他
諸謝金	675,000	
手数料	18,000	
租税公課	0	
負担金支出	20,000	
委託費	13,685,000	
広告宣伝費	1,801,000	
損害保険料	216,000	
食糧費	284,000	
合計	35,296,000	

支出合計 ￥284,685,000

Ⅶ 施設利用状況

1 月別入館者数

平成31年4月～令和元年3月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成31年 4月	15,298	3,846	4,542	8,388
令和元年 5月	14,962	3,738	4,548	8,286
6月	13,290	5,189	4,774	9,963
7月	25,712	8,316	11,233	19,549
8月	38,322	11,404	16,084	27,488
9月	16,831	5,421	5,293	10,714
10月	11,024	3,003	2,820	5,823
11月	11,959	2,703	2,545	5,248
12月	22,076	6,180	8,190	14,370
令和2年 1月	14,907	4,448	5,207	9,655
2月	10,587	2,080	2,769	4,849
3月	0	0	870	870
合 計	194,968	56,328	68,875	125,203

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成 28 年度	240,887	77,040	85,184	162,224
平成 29 年度	238,440	76,355	80,533	156,888
平成 30 年度	212,021	64,823	69,918	134,741
令和元年度	194,968	56,328	68,875	125,203
合 計	4,794,108	1,332,700	1,367,814	2,700,514

2 施設別入館者数

宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	1,192	75	24	2	10	2,602	260	28	3	26	3,794	146	52	2
5月	15	449	30	338	23	12	2,951	246	0	0	27	3,400	126	338	13
6月	16	675	42	2,757	172	10	1,757	176	0	0	26	2,432	94	2,757	106
7月	19	2,081	110	2,269	119	9	3,802	422	164	18	28	5,883	210	2,433	87
8月	20	6,211	311	568	28	10	4,603	460	22	2	30	10,814	360	590	20
9月	14	535	38	2,652	189	11	2,153	196	81	7	25	2,688	108	2,733	109
10月	17	775	46	627	37	10	1,532	153	69	7	27	2,307	85	696	26
11月	16	452	28	744	47	10	1,507	151	0	0	26	1,959	75	744	29
12月	16	1,686	105	548	34	10	3,946	395	0	0	26	5,632	217	548	21
1月	12	1,006	84	237	20	11	3,181	289	24	2	23	4,187	182	261	11
2月	14	424	30	127	9	11	1,529	139	0	0	25	1,953	78	127	5
3月	16	0	0	0	0	10	0	0	0	0	26	0	0	0	0
合計	191	15,486	81	10,891	57	124	29,563	238	388	3	315	45,049	143	11,279	36

展示ゾーン

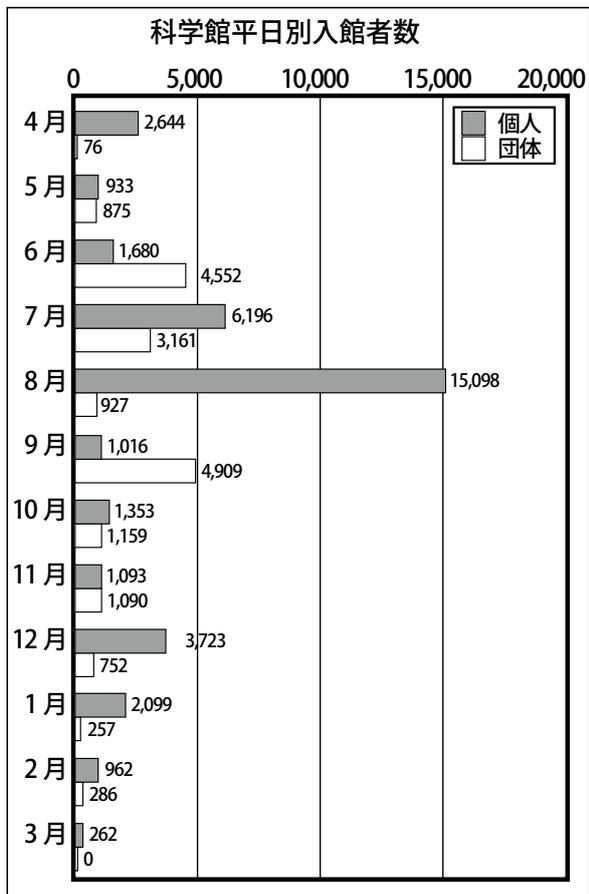
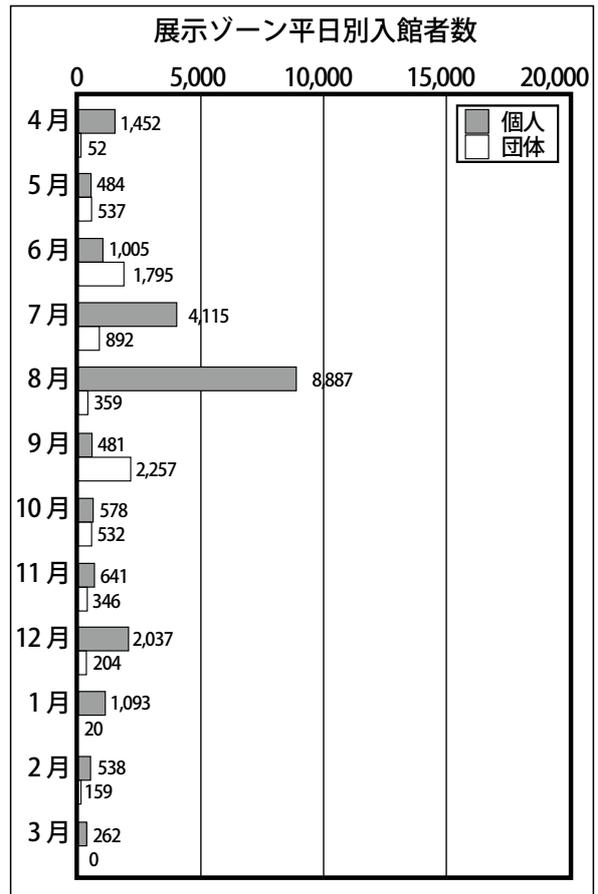
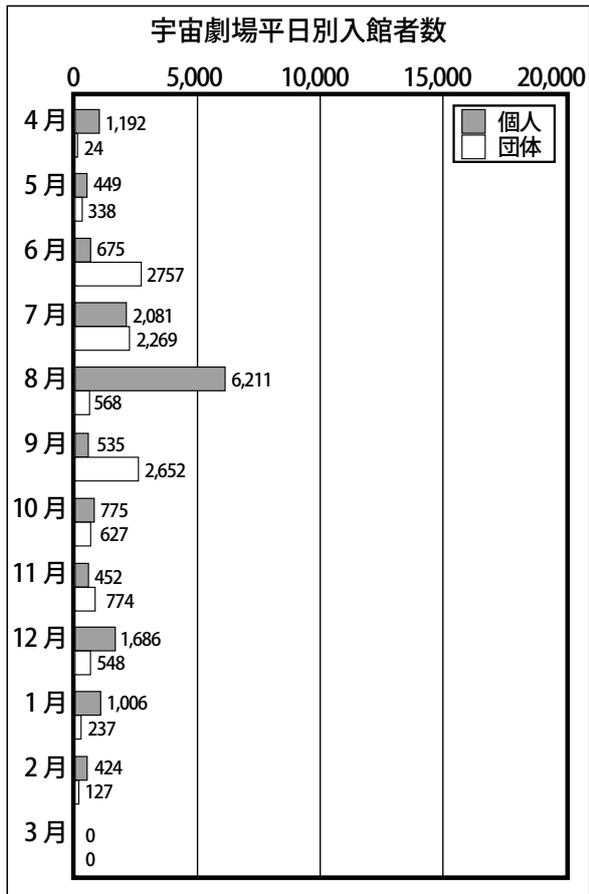
(単位：人)

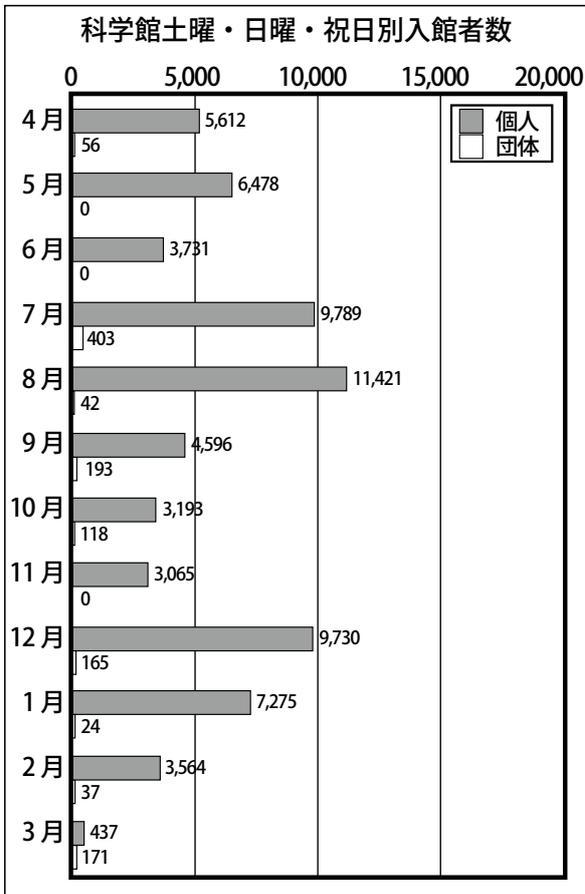
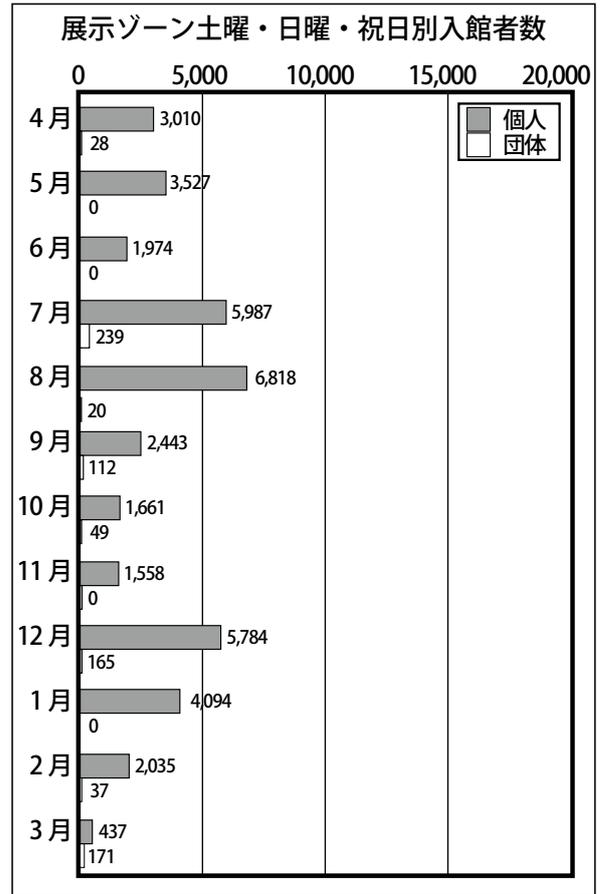
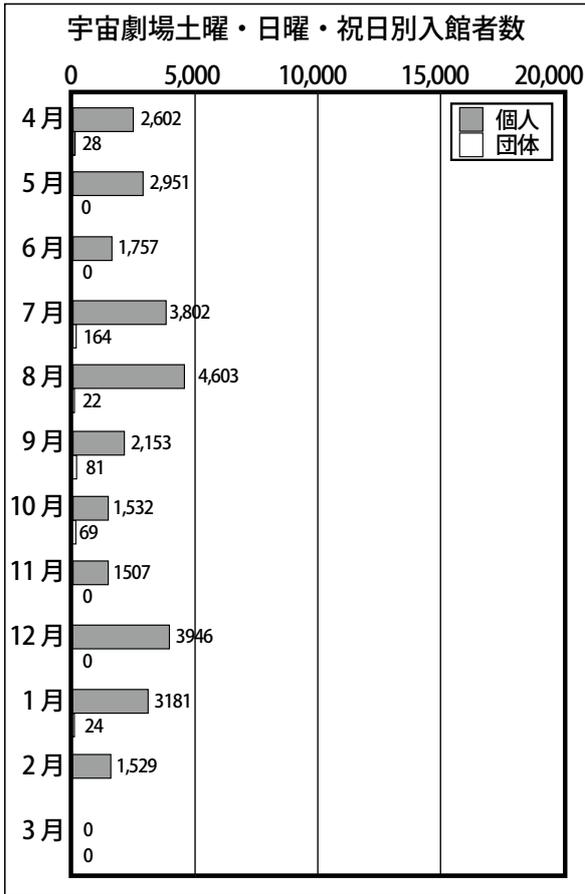
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	1,452	91	52	3	10	3,010	301	28	3	26	4,462	172	80	3
5月	15	484	32	537	36	12	3,527	294	0	0	27	4,011	149	537	20
6月	16	1,005	63	1,795	112	10	1,974	197	0	0	26	2,979	115	1,795	69
7月	19	4,115	217	892	47	9	5,987	665	239	27	28	10,102	361	1,131	40
8月	20	8,887	444	359	18	10	6,818	682	20	2	30	15,705	524	379	13
9月	14	481	34	2,257	161	11	2,443	222	112	10	25	2,924	117	2,369	95
10月	17	578	34	532	31	10	1,661	166	49	5	27	2,239	83	581	22
11月	16	641	40	346	22	10	1,558	156	0	0	26	2,199	85	346	13
12月	16	2,037	127	204	13	10	5,784	578	165	17	26	7,821	301	369	14
1月	12	1,093	91	20	2	11	4,094	372	0	0	23	5,187	226	20	1
2月	14	538	38	159	11	11	2,035	185	37	3	25	2,573	103	196	8
3月	16	262	16	0	0	10	437	44	171	17	26	699	27	171	7
合計	191	21,573	113	7,153	37	124	39,328	317	821	7	315	60,901	193	7,974	25

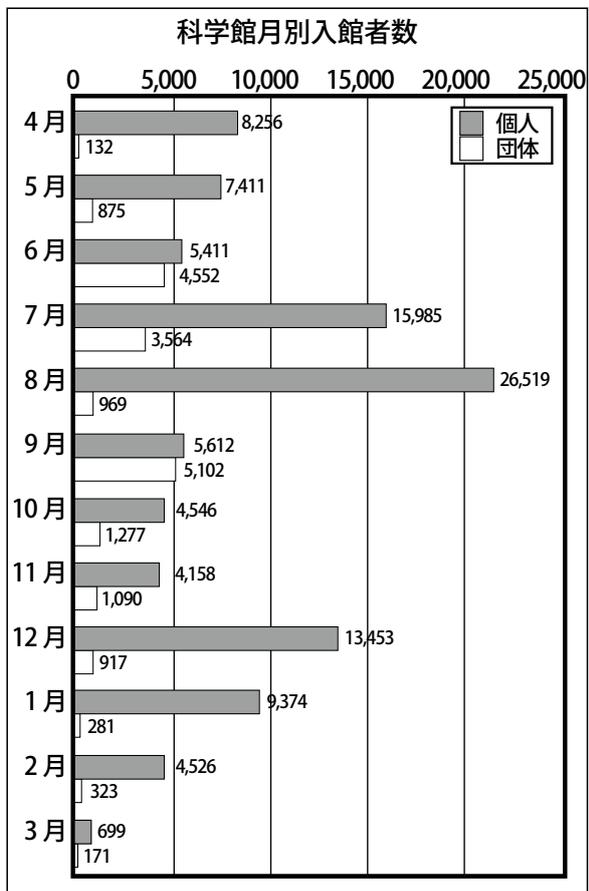
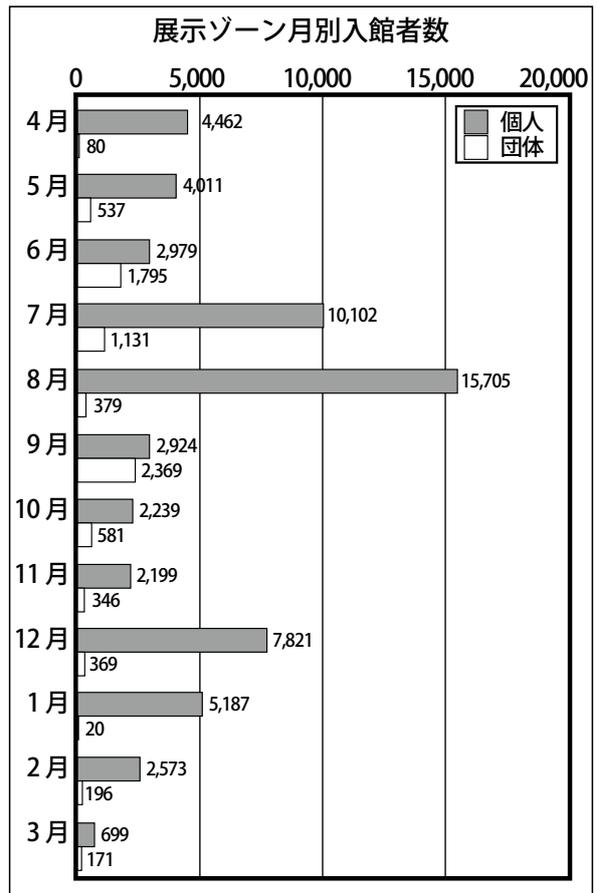
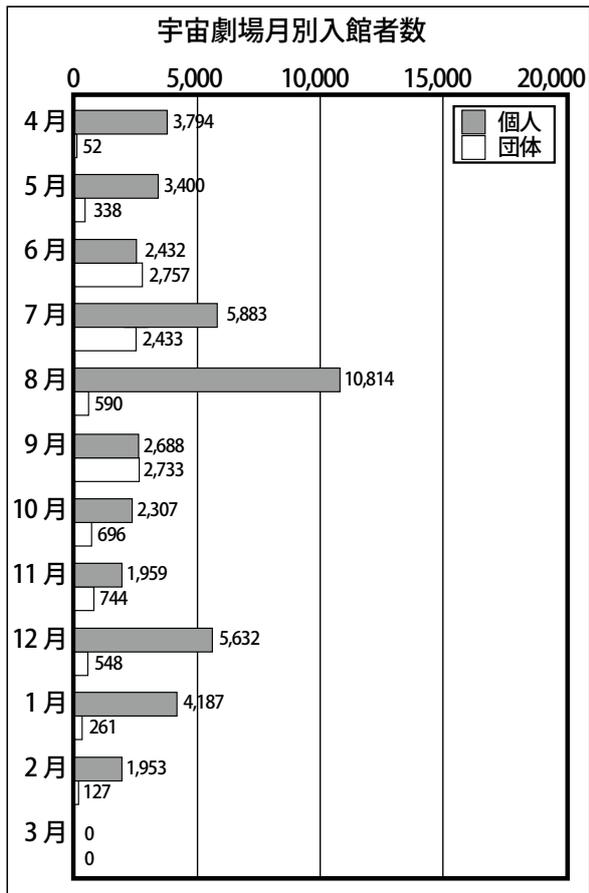
合計

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	2,644	165	76	5	10	5,612	561	56	6	26	8,256	318	132	5
5月	15	933	62	875	58	12	6,478	540	0	0	27	7,411	274	875	32
6月	16	1,680	105	4,552	285	10	3,731	373	0	0	26	5,411	208	4,552	175
7月	19	6,196	326	3,161	166	9	9,789	1,088	403	45	28	15,985	571	3,564	127
8月	20	15,098	755	927	46	10	11,421	1,142	42	4	30	26,519	884	969	32
9月	14	1,016	73	4,909	351	11	4,596	418	193	18	25	5,612	224	5,102	204
10月	17	1,353	80	1,159	68	10	3,193	319	118	12	27	4,546	168	1,277	47
11月	16	1,093	68	1,090	68	10	3,065	307	0	0	26	4,158	160	1,090	42
12月	16	3,723	233	752	47	10	9,730	973	165	17	26	13,453	517	917	35
1月	12	2,099	175	257	21	11	7,275	661	24	2	23	9,374	408	281	12
2月	14	962	69	286	20	11	3,564	324	37	3	25	4,526	181	323	13
3月	16	262	16	0	0	10	437	44	171	17	26	699	27	171	7
合計	191	37,059	194	18,044	94	124	68,891	556	1,209	10	315	105,950	336	19,253	61







3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	378	793	198	1,844	298	283	3,794
5月	182	618	187	1,790	244	379	3,400
6月	213	371	85	1,223	174	366	2,432
7月	601	1,304	281	2,521	314	862	5,883
8月	1,002	2,650	686	4,773	690	1,013	10,814
9月	189	403	223	1,367	204	302	2,688
10月	262	312	73	1,159	149	352	2,307
11月	177	273	114	1,034	171	190	1,959
12月	584	990	318	2,675	461	604	5,632
1月	455	725	193	2,079	289	446	4,187
2月	213	270	155	958	114	243	1,953
3月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	4,256	8,709	2,513	21,423	3,108	5,040	45,049

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	24	28	0	0	52	3,846
5月	51	76	1	119	91	338	3,738
6月	1,013	1,600	5	137	2	2,757	5,189
7月	847	1,309	0	203	74	2,433	8,316
8月	66	509	0	15	0	590	11,404
9月	8	2,488	0	167	70	2,733	5,421
10月	253	372	56	15	0	696	3,003
11月	286	394	22	42	0	744	2,703
12月	108	382	0	3	55	548	6,180
1月	192	25	0	39	5	261	4,448
2月	100	22	0	5	0	127	2,080
3月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2,924	7,201	112	745	297	11,279	56,328

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	1	1	0	0	0	2
5月	2	2	0	0	0	3	7
6月	23	34	0	0	0	0	57
7月	26	14	0	1	1	14	56
8月	2	2	0	0	0	8	12
9月	0	44	0	0	1	3	48
10月	6	7	1	0	0	2	16
11月	7	7	1	0	0	0	15
12月	2	3	0	0	0	1	6
1月	3	0	0	1	0	2	6
2月	3	1	0	0	0	0	4
3月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	74	115	3	2	2	33	229

4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	
4月	1,434	128	1,834	1,066	4,462
5月	1,062	131	1,803	1,015	4,011
6月	592	35	1,095	1,257	2,979
7月	3,054	1,013	3,378	2,657	10,102
8月	4,860	1,738	6,056	3,051	15,705
9月	682	132	1,253	857	2,924
10月	505	49	881	804	2,239
11月	408	63	870	858	2,199
12月	1,858	338	3,358	2,267	7,821
1月	1,239	178	2,263	1,507	5,187
2月	513	112	1,061	887	2,573
3月	96	129	287	187	699
合 計	16,303	4,046	24,139	16,413	60,901

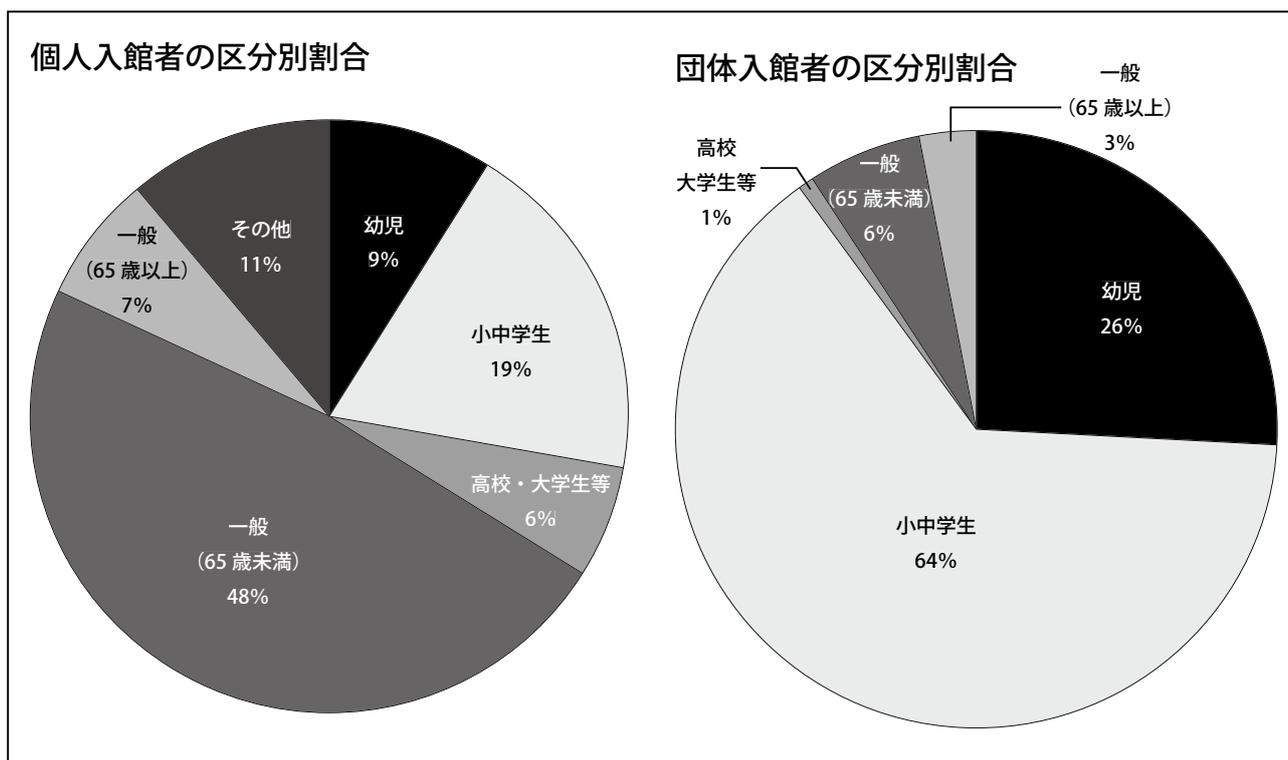
(単位：人)

月	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	52	28	0	80	4,542
5月	472	1	64	537	4,548
6月	1,715	0	80	1,795	4,774
7月	945	0	186	1,131	11,233
8月	332	25	22	379	16,084
9月	2,187	0	182	2,369	5,293
10月	514	56	11	581	2,820
11月	310	22	14	346	2,545
12月	245	80	44	369	8,190
1月	18	0	2	20	5,207
2月	174	0	22	196	2,769
3月	0	0	171	171	870
合 計	6,964	212	798	7,974	68,875

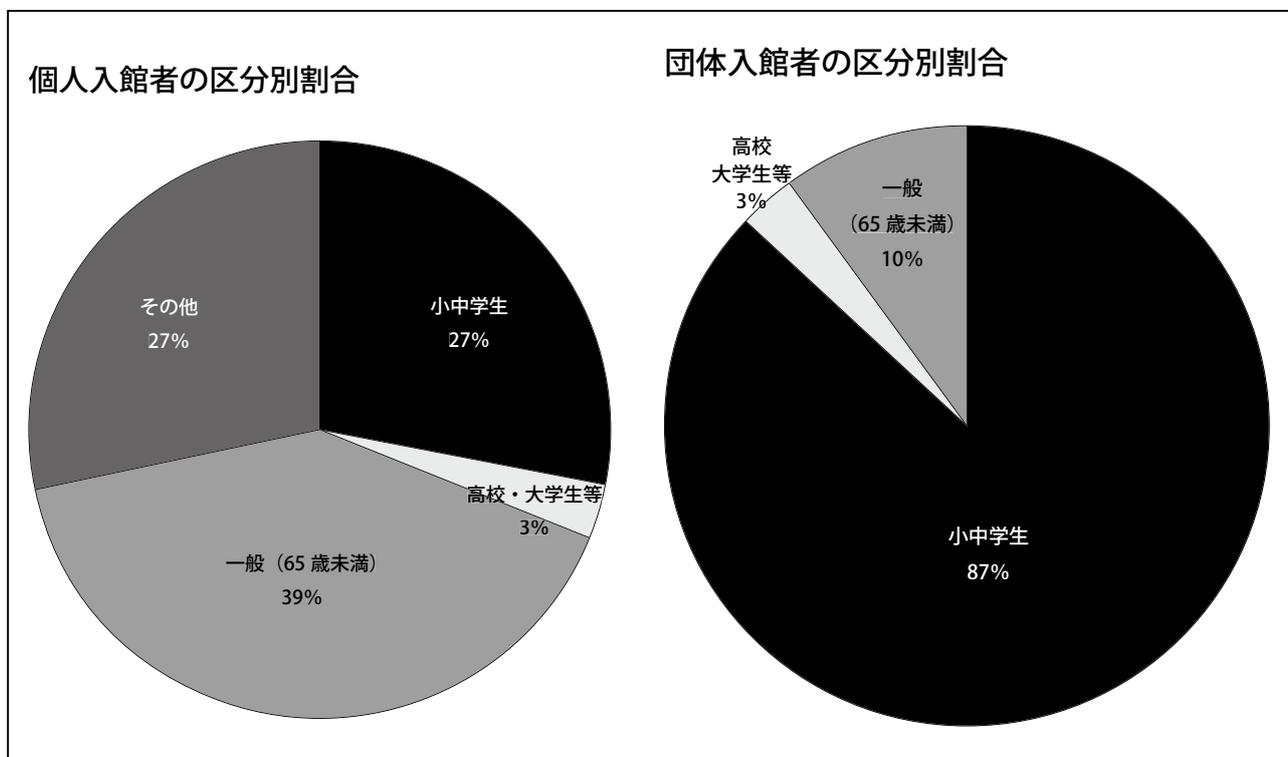
(単位：団体)

月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	2	1	0	0	3
5月	7	0	0	1	8
6月	30	0	0	0	30
7月	10	0	1	12	23
8月	1	1	0	7	9
9月	44	0	0	3	47
10月	10	1	0	1	12
11月	7	1	0	0	8
12月	3	2	0	2	7
1月	0	0	0	1	1
2月	3	0	0	1	4
3月	0	0	0	1	1
合 計	117	6	1	29	153

宇宙劇場入館者の区分別割合



展示ゾーン入館者の区分別割合



5 平成 26 年度から平成 30 年度までの入館者数の変遷

平成 26 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 26 年 4 月	13,033	2,533	3,391	5,924
5 月	15,592	4,135	4,798	8,933
6 月	14,005	4,886	4,609	9,495
7 月	24,181	10,896	7,882	18,778
8 月	34,895	15,013	10,784	25,797
9 月	16,669	5,895	4,515	10,410
10 月	15,439	4,605	4,121	8,726
11 月	14,579	3,757	3,457	7,214
12 月	16,690	3,847	2,683	6,530
平成 27 年 1 月	11,129	2,549	2,428	4,977
2 月	10,083	2,252	1,931	4,183
3 月	17,468	3,876	4,477	8,353
合 計	203,763	64,244	55,076	119,320

平成 27 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 27 年 4 月	12,994	2,419	3,232	5,651
5 月	16,197	3,996	4,526	8,522
6 月	14,429	4,926	4,572	9,498
7 月	21,676	9,750	6,428	16,178
8 月	31,958	12,777	11,165	23,942
9 月	18,172	7,377	4,843	12,220
10 月	15,645	3,818	4,185	8,003
11 月	14,211	4,183	3,289	7,472
12 月	25,995	6,560	8,175	14,735
平成 28 年 1 月	17,516	4,674	6,235	10,909
2 月	11,457	2,961	2,528	5,489
3 月	16,344	3,846	4,183	8,029
合 計	216,594	67,287	63,361	130,648

平成 28 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合 計	240,887	77,040	85,184	162,224

平成 29 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 29 年4月	14,504	4,308	3,507	7,815
5月	14,761	4,244	4,091	8,335
6月	15,184	6,304	4,852	11,156
7月	30,049	11,361	11,579	22,940
8月	45,749	14,903	19,257	34,160
9月	17,017	6,985	5,426	12,411
10月	15,611	4,931	5,167	10,098
11月	14,139	4,039	2,924	6,963
12月	26,171	6,790	10,198	16,988
平成 30 年1月	16,649	4,138	6,716	10,854
2月	11,803	3,633	2,452	6,085
3月	16,803	4,719	4,364	9,083
合 計	238,440	76,355	80,533	156,888

平成 30 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 30 年4月	12,909	2,917	3,160	6,077
5月	15,064	3,553	4,613	8,166
6月	14,764	5,179	5,170	10,349
7月	20,953	8,558	6,965	15,523
8月	30,503	10,680	10,991	21,671
9月	17,307	6,330	5,197	11,527
10月	15,410	3,991	4,852	8,843
11月	13,275	3,828	2,867	6,695
12月	25,818	5,713	11,573	17,286
平成 31 年1月	16,020	3,604	6,745	10,349
2月	12,435	4,805	2,822	7,627
3月	17,563	5,665	4,963	10,628
合計	212,021	64,823	69,918	134,741

6 令和元年度施設利用状況の結果分析

(1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○令和元年度：125,203 人（前年度：134,741 人）

○前年度比：約 7%減少（9,538 人減少）

☆展望ロビー入館者数

○令和元年度：194,968 人（前年度：221,021 人）

○前年度比：約 11.7%減少（26,053 人減少）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：10,434 人（前年度：11,228 人）

○展望ロビー：16,247 人（前年度：17,668 人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約 64.2%
（前年度比：約 0.6%増 ※前年度：約 63.6%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6.7%	6.6%	8.0%	15.6%	22.0%	8.6%	4.6%	4.2%	11.5%	7.7%	3.9%	0.6%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
138.0%	102.0%	96.3%	126.0%	127.0%	93.0%	65.9%	78.4%	83.1%	93.3%	63.6%	8.2%

(2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：64,823 人）

○令和元年度：56,328 人

○前年度比：約 13.2%減少

☆展示ゾーン入館者数（前年度：69,918 人）

○令和元年度：68,875 人

○前年度比：約 1.5%減少

(3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：115,208 人）

○令和元年度：105,950 人

○前年度比：約 8.1%減少

☆団体利用者数（前年度：19,533 人）

○令和元年度：19,253 人

○前年度比：約 1.5%減少

☆来館形態比

○個人：約 84.6%（前年度：約 85.5%）

○団体：約 15.4%（前年度：約 14.5%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平日：約 44.0%（前年度：約 41.4%）

○土・日・祝：約 56.0%（前年度：約 58.6%）

（4） 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：56,328人）

○幼児：7,180人（約 12.7%） 内訳＝個人：4,256人 団体：2,924人

○小・中学生：15,910人（約 28.2%） 内訳＝個人：8,709人 団体：7,201人

○高校・大学生：2,625人（約 4.7%） 内訳＝個人：2,513人 団体：112人

○一般（65歳未満）：22,168人（約 39.4%） 内訳＝個人：21,423人 団体：745人

○一般（65歳以上）：3,405人（約 6.0%） 内訳＝個人：3,108人 団体：297人

○その他（障がい者など）：5,040人（約 9.0%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：68,875人）

○小・中学生：23,267人（約 33.8%） 内訳＝個人：16,303人 団体：6,964人

○高校・大学生：4,258人（約 6.2%） 内訳＝個人：4,046人 団体：212人

○一般（65歳未満）：24,937人（約 36.2%） 内訳＝個人：24,139人 団体：798人

○その他（幼児、障がい者など）：16,413人（約 23.8%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65歳未満）」が最も多く約 37.6%、次いで「小・中学生」約 31.3%と、昨年度と同様に「一般（65歳未満）」が多い結果となりました。

（5） 総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が 125,203 人で約 7.0%減少、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が 24,998,640 円で約 2.5%の減少、展望ロビーにおける施設利用料金が 854,200 円と前年度と比べ約 18.8%減少しました。

入館者数及び施設利用料金収入が減少したのは、今年度の鉄道の日「鉄道フェスティバル」の入館者数が台風 19 号の影響により 525 人と前年度の入館者数の 2,569 人から 2,044 人少なかったこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宇宙劇場が 2 月 26 日、展望ロビーが 2 月 29 日から休館となったこと、春休み特別企画「ロボットで遊ボット！」が開催中止になるなど、前年度の同時期より 9,939 人少なかったことなどが大きな要因と考えられます。

また、展望ロビーの施設利用料金が約 18.8%減少したのは、展望ロビーに設置してある鉄道ジオラマ運転装置（200 円を投入し N ゲージ鉄道模型の運転操作体験がで

きる装置)が経年劣化による不具合により使用できない状態が頻繁に起きたこと、展望ロビーが2月29日から休館となったため、設置してある鉄道ジオラマ運転装置及びビュースコープ(100円を投入し景色を見る装置)が使用できなかったことが要因となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響は、当面続くものと予想され来館者の急激な回復を望むことは困難であることから、館として感染症防止対策を行い、安全・安心でご来館いただける環境づくり、館運営を心掛けていくと同時に、ウェブサイト、メールマガジン、Facebook、Instagram、YouTubeなどを活用し、市民の皆様方に情報を発信していくことが必要であると考えております。

そして、市民の皆様方に楽しんでいただける事業の実施やお客様ニーズを館の運営に取り入れられるよう広く情報収集を行い、集客に努めていきたいと考えております。

Ⅷ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日

郡山市条例第 33 号

(設置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第 3 条 削除

(事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分(入館は、午後 5 時)までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。)
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあつては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書(以下「事業計画書」という。)等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)、民事再生法(平成11年法律第225号)等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

(事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

(利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めるときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めるときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めるときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

(指定等の公告)

第20条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があつたとき。

(開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

(事業計画書等の内容の変更等)

第 22 条 指定管理者は、第 14 条第 1 項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置)

- 6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手続、処分その他の行為とみなす。

附 則(平成29年郡山市条例第47号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

* 別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日
郡山市規則第 26 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

(観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
 - (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額
- 2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
 - (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額
- 2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

(遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲

- (3) 指定管理者の指定の期間
 - (4) 利用料金に関する事項
 - (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
 - (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
 - (7) 次条第 1 項に規定する申請書等に関する事項
 - (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
 - (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
 - (10) その他市長が必要と認める事項
- 2 条例第 13 条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和 40 年郡山市条例第 2 号）第 2 条第 2 項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

（申請書等）

第 7 条 条例第 14 条第 1 項の規定による申請は、指定申請書（第 4 号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第 14 条第 1 項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近 2 事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近 2 事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他市長が必要と認める書類

2 条例第 14 条第 2 項第 4 号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
 - ア 破産者で復権を得ないもの
 - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前 30 日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第 13 条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して 2 年を経過しないもの
 - ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において 2 年を経過しないもの
 - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員
- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの 2 分の

1 以上を出資し、又は出せんしている法人を除く。) でないこと。

(3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できること。

(選定通知)

第 8 条 条例第 15 条第 2 項の規定による通知は、選定結果通知書 (第 5 号様式) によるものとする。

(指定通知)

第 9 条 条例第 16 条第 1 項の規定により指定をするときは、指定通知書 (第 6 号様式) により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第 10 条 条例第 17 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第 14 条第 1 項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第 11 条 条例第 22 条第 1 項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

(委任)

第 12 条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則 (平成 27 年郡山市教育委員会規則第 1 号) による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則 (平成 13 年郡山市教育委員会規則第 12 号。以下「廃止前の規則」という。) の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成 30 年郡山市規則第 26 号)

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年郡山市規則第 48 号）

この規則は、公布の日から施行する。

2 利用案内

< 普通観覧料 >

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円

※宇宙劇場の幼児… 座席を使用しない場合は無料
※団体割引…20 名以上の団体は 20% OFF

< 定期観覧料（ワンイヤーパスポート） >

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が 1 年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

< 宇宙劇場番組開始時間 >

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10 : 15	11 : 00
2 回目	11 : 30	12 : 30
3 回目	14 : 00	14 : 00
4 回目	15 : 30	15 : 30
5 回目		17 : 00
6 回目	19 : 00 ※金曜日のみ（祝日を除く）	

※番組開始時刻は変更になる場合があります。

< 開館時間 >

常設展示 ……10 : 00 ~ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

宇宙劇場 ……10 : 00 ~ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

※金曜日は 10 : 00 ~ 19 : 45（入場は 19 : 00 まで）

< 休館日 >

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28 ~ 1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

< 展望ロビー >

10 : 00 ~ 20 : 00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
 - (2) 本会及び科学館主催事業の支援
 - (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
 - (4) その他必要な活動
- 2 活動は科学館と協議の上、実施する。
- 3 活動項目は、随時拡充していくものとする。
- 4 活動内容により、次の活動グループを置く。
- (1) 案内グループ
 - (2) 科学グループ
 - (3) 天文グループ

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

- 2 会員に会長名で登録証を発行する。
- 3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名

(2) 副会長 2名

(3) 運営委員 若干名

2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。

3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。

5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

(1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。

(2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。

(3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

(1) 総務部会

(2) 企画部会

(3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

(1) 退会届の提出をした場合

(2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合

(3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合

(4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合

(5) 政治活動や宗教活動を行った場合

(6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合

(7) 営利を目的とした行為を行った場合

(8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第 12 条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

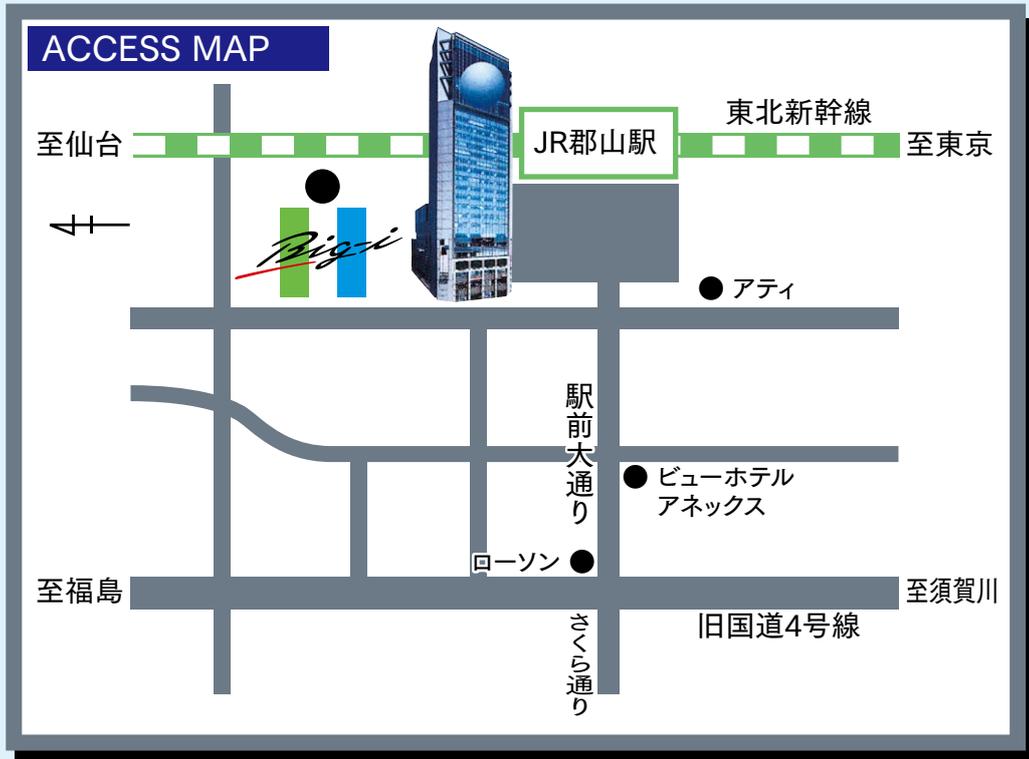
この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <http://www.space-park.jp>

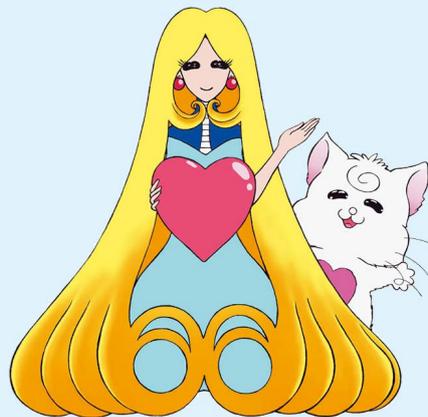
スペースパーク

検索

Facebook配信中!

Instagram配信中!

YouTube配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市